音楽療法士学科 実務経験のある教員による授業科目一覧

		医	療職業建	ミ践専門	課程								
	音楽療法士学科 ※授業1単位=15時間、実技・演習1単位=30時間、技能・実習1単位=45時間												
		科目名	授業分類			授業時間数				単位			
		村 目 石	講義	実技	実習	1年次	2年次	3年次	計	毕业.			
	必修理論	音楽療法概論	0			30			30	2			
	必修基礎	音楽療法の諸理論	0				30		30	2			
4	必修基礎	音楽療法の研究	\circ					30	30	2			
	必修臨床	音楽療法各論 I	\circ			30			30	2			
音		音楽療法各論Ⅱ	0				30		30	2			
楽療		音楽療法各論Ⅲ	\circ					30	30	2			
法		技能 I		0		45			45	1			
分	必修技能	技能Ⅱ		\circ		45			45	1			
野		技能Ⅲ		0			45		45	1			
		実習I			0	30	30	30	90	2			
	必修演習·実習	実習Ⅱ			\circ		45	45	90	2			
		実習Ⅲ			0		-	90	90	2			
	必 修	卒業論文	\circ		•			60	60	4			
	合 計 180 180 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 285 645 645 285 645 645 645 645 645 645 645 645 645 64												

^{※「}選択」は日本音楽療法学会で示された科目内で、本学で開講している必修授業を表す

成績の評価及び履修認定について

(授業科目履修の認定に係る学則)

- 第23条 授業科目の履修に関しては、授業時間数の3分の2以上出席し、試験 に合格した者に、所定の単位を与える。ただし平素の学習状況又は論 文等をもって試験に代えることができる。
 - 2 試験の成績の評価は、秀、優、良、可又は不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。
 - 3 前項の秀は90点、優は80点、良は70点、可は60点割を基準とし、 総合的な評価を行なう。

(GPA の導入について)

GPA(Grade Point Average)とは、履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GP に該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する。計算結果は小数点以下第3位を切り捨てして表記する。

1 成績評価の適切な取組の概要

成績評価については、「秀(90点)、優(80点)、良(70点)、可(60点)、不可」の5 段階で評価し、可以上で合格となる。また、GP (Grade Point) としては、「秀 は4.0、優は3.0、良は2.0、可は1.0、不可は0.0」とする。

GPA 算出式

(履修科目の単位数×ポイント)の合計 GPA=

履修した講義の総単位数

2. GPAの種類

GPA は年度ごとに算出したもの(年度GPA)、入学時から現在の学期まで通算したもの(累積GPA)があり、その計算方法は次のとおり。

①年度GPA

当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP 合計を当該年度の履 修総単位数で除して算出する。

②累積GPA

入学時から現在の学期までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP 合計を入学時

からの履修総単位数で除して算出する。

授業科目	基礎科目	担当科目		音楽通論		単位数	2	X22 1/ \	必修
区 分	圣诞行口	153170		日不远師		時間数	30	必修	纪·哼
担当教員		近	藤真知子			受講学科	音	楽療法士学	科
	立必使法人				かぼる	学年	NT O BU	1年	+ 7
実務家教員 としての経歴	発達障害児	への個人音	楽療法 9		(栄)種の	質俗を有し、	以下の通り	美務栓験が	かる 。
このでの神子が		述成での来 基礎指導歴		医療機関領	受付•事務	·歷 20年			
実務経験と 授 業	ピアノ、音楽 を養う。	Ĕ基礎指導 <i>0</i>	実務経験	を活かし、将	乎 野来音楽®	寮法士を目指	言す学生に必	。要な音楽 <i>の</i>	基礎知識
学期区分	前期					講義室等		201教室	
	後期		木曜日	1時限		授業形式		講義	
授業目標およ	び概要					成績評価の	方法		
音楽の基礎的ける。]理論を繰り	返し学習し、	幅広い知	識と応用力を	を身につ	筆記試験、 価する。	授業態度、近	進度等から終	合的に評
1 mm allo - a 22 - a - 1						教科書			
授業の進め方	<u> </u>					音楽通論			
講義、またはえ	寅習					参考書			
H17,24 0 0 2 0 0 1.	~-								
履修上の 注意事項									
				授 業 の	計画				
	〈育	前 学 期〉					〈後 学 期	>	
第1回					第1回	授業概要			
第2回					第2回	音名			
第3回					第3回	音の長さ			
第4回					第4回	音の高さ			
第5回					第5回	記号			
第6回					第6回	音程			
第7回					第7回	音程			
第8回					第8回	音程			
第9回					第9回	音階			
第10回					第10回	音階			
第11回					第11回	音階			
第12回					第12回	関係調			
第13回					第13回	関係調•移	調		
第14回					第14回	移調			
第15回					第15回	まとめ			

授業科目	Ⅰ基礎科目	担当科目	鍵盤和声		単位数	2	選択	必修
区 分					時間数	30	必修	
担当教員		樋	口瑠理子		受講学科	音	楽療法士学	<u>科</u>
	- 主	- の咨抜た右	し、以下の通り実務経	除がなる	学 年		1年	
実務家教員			音楽療法 2年	ラスク・のう	0			
としての経歴	特別養護老	人ホームで	の音楽療法 6年					
実務経験と							<u></u>	
授 業	音楽療法の)実務経験を	活かし、将来音楽療法	ま士を目指	ゴマ生に必	安な技術を	養 う 	
学期区分	前期				講義室等		201教室	
は来口挿とし	後期		水曜日 2時限		授業形式	\ 	講義	
授業目標およ	· O 做 安				成績評価の)万法		
コードネーム、基本形・転回形、和音の機能、和声進行、和音の配置 などについて学ぶ								
授業の進め方	-				教科書			
1文本の座(37)	<u> </u>				歌伴のすべ	て		
講義、コードで	で とない マングラング マングラ マング マングラ アン・アン・ マン・マン・ マン・マン・ マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	する宝坊生	今める		参考書			
m 我、□ 「 (- 大阪に英矢		5 070					
屋板しの	1							
履修上の 注意事項								
			授業の	計画				
	⟨頂	前 学 期〉				〈後 学 期	1)	
							17	
第1回				第1回	メジャーコー		17	
第1回				第1回	メジャーコー	- F ①		
				第2回		-F1 -F2		
第2回				第2回	メジャーコー	-F1 -F2 -F3		
第2回				第2回	メジャーコーメジャーコー	-F1 -F2 -F3 -F1		
第2回 第3回 第4回				第2回 第3回 第4回	メジャーコー メジャーコー マイナーコー	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回				第2回 第3回 第4回 第5回	メジャーコー メジャーコー マイナーコ- マイナーコ-	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	メジャーコー メジャーコー マイナーコ- マイナーコ- マイナーコ-	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	メジャーコー メジャーコー マイナーコー マイナーコー オンコード	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	メジャーコー メジャーコー マイナーコー マイナーコー オンコード 7th	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	メジャーコー マイナーコー マイナーコー マイナーコー オンコード 7th diminish	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	メジャーコー マイナーコー マイナーコー マイナーコー オンコード 7th diminish augment	-F1 -F2 -F3 -F1 -F2 -F3		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回				第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回	メジャーコー メジャーコー マイナーコー マイナーコー オンコード 7th diminish augment sus4	-ド① -ド② -ド③ -ド① -ド② -ド③		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第11回				第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	メジャーコー マイナーコー マイナーコー マイナーコー オンコード 7th diminish augment sus4	-ド① -ド② -ド③ -ド③ -ド③ -ド③ -ド③ -ド② -ド③ -ド② -ド③		

授 業 科 目区 分	基礎科目	担当科目	音楽心理学		単位数 時間数	30 選択 必修	必修			
担当教員		髙	橋和奈枝		受講学科	音楽療法士学科				
	音楽療法士	:の資格を有	し、以下の通り実務経	験がある	学 年。	1年				
実務家教員			神経内科、消化器内 楽療法 5年	科•外科、	失語症外来)での音楽療法 5年				
としての経歴	児童発達支	援センター	での音楽療法 11年、							
 実務経験と						ら失調症)、その他の音楽般 エムはななままる	療法等			
授業		実務経験を		士を目指	旨す学生に必要な技術を養う ■ ままさかな ■ ここまだり					
学期区分	前期 後期		月曜日 2時限		講義室等授業形式	201教室				
授業目標およ					成績評価の					
音や音楽が人 様々な音の特					課題レポー	۲				
授業の進め方	,				教科書					
以来の延切力					心を動かす	音の心理学				
講義で知識を 用等を実際に		に、実際に体	本験し音楽の身体的・√	心理的作	参考書					
用守る大阪に	予察なる。				音楽行動の心理学					
履修上の 注意事項										
	/ 4		授業の	計画		//// 224 #m\				
第1回	オリエンテー	が 学 期〉 -シィコンィ		第1回		〈後 学 期〉				
第2回	音楽の起源			第2回						
第3回	音楽の起源			第3回						
第4回	音楽の起源	i(3)		第4回						
第5回	音楽の社会	:心理学①		第5回						
第6回	音楽の社会	心理学②		第6回						
第7回	音楽の社会	心理学③		第7回						
第8回	音楽と感情			第8回						
第9回	音楽と脳			第9回						
第10回	音楽とストレ	ノス対処		第10回						
第11回	同質の原理	!1		第11回						
第12回	同質の原理	!2		第12回						
第13回	BGMの効果	<u>!</u> ①		第13回						
第14回	BGMの効果	<u> </u>		第14回						
第15回	まとめ			第15回						

授業科目	基礎科目	担当科目	7	5洋音楽史		単位数	2	選択	必修
区 分	圣诞 竹日	担当符日	Ľ	3/十日未文		時間数	30	必修	处训练
担当教員		រ៍ា	藤真知子			受講学科	音	楽療法士学	科
12-13/30	****				W.TT 1	学年		1年	L 7
実務家教員としての経歴	発達障害児		楽療法 9	年	楽1種の1	資格を有し、	以下の通り	実務経験が	ある。
こしての作品		[●] 心設との来 ・ 基礎指導歴		医療機関5 医療機関5	受付•事務	· 20年			
実務経験と 授 業	ピアノ、音楽 を養う。	聚基礎指導σ)実務経験?	を活かし、将	乎 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	療法士を目指	旨す学生に必	要な音楽の)基礎知識
学期区分	前期		金曜日	4時限		講義室等		201教室	
구세단기	後期					授業形式		講義	
授業目標およ	び概要					成績評価の)方法		
西洋音楽史全般の大きな流れを知ると共に、時代ごとの特徴につい て、作曲家・演奏家・または楽器等を通して学ぶ。 ************************************									
授業の進め方						教科書			
授業の進め方						大人の音楽	生入門		
講義∙演習∙課	題発表					参考書			
履修上の 注意事項									
				授 業 の	計画				
	〈育	前 学 期〉				1	〈後 学 期	 >	
第1回	古代·中世·	・ルネサンス			第1回				
第2回	古代·中世·	・ルネサンス			第2回				
第3回	古代·中世·	・ルネサンス			第3回				
第4回	バロック				第4回				
第5回	バロック				第5回				
第6回	バロック				第6回				
第7回	古典派				第7回				
第8回	古典派				第8回				
第9回	古典派				第9回				
第10回	ロマン派				第10回				
第11回	ロマン派				第11回				
第12回	ロマン派				第12回				
第13回	近現代				第13回				
第14回	近現代				第14回				
第15回	近現代				第15回				

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	世界の音楽		単位数	2	Z-1/\	必修	
区 分	202111	JE = 17 D	(旧:日本音楽9	史) ————	時間数	30	必修		
担当教員		髙	橋和奈枝		受講学科	音	楽療法士学	科	
	音楽療法士	の資格を有	し、以下の通り実務経	験がある	学年。		3年		
実務家教員	大学病院(精神神経科、	神経内科、消化器内)での音楽療	寮法 5年		
としての経歴			楽療法 5年 での音楽療法 11年、i	音楽療法·	センターでの	個人音楽療	法 2年		
			ごス、自主グループ(発					柒療法等	
実務経験と 授 業	音楽療法の	実務経験を	活かし、将来音楽療法	士を目指	す学生に必	要な技術を	養う		
学期区分	前期				講義室等		304教室		
位金口挿かり	後期		水曜日 3時限		授業形式	\ :+	講義		
授業目標およ	ひ做安				成績評価の方法				
世界および日	本のポピュラ	5一音楽、民	族音楽について学ぶ		授業態度、	課題発表			
					教科書				
授業の進め方	Ī				小学館の図]鑑 NEO 音	桨		
講義、または	宙習				参考書				
	~-								
履修上の 注意事項									
	<u> </u>		授業の	計画					
	〈前	前 学 期〉				〈後 学 期]>		
第1回				第1回	ブルース				
第2回				第2回	ジャズ				
第3回				第3回	ロック				
第4回				第4回	カントリー				
第5回				第5回	キューバ音	楽			
第6回				第6回	ブラジル音	楽			
第7回				第7回	アルゼンチ	ン音楽			
第8回				第8回	ハワイの音	楽			
第9回				第9回	アフリカの音	音楽			
第10回				第10回	ロシアの音	楽			
第11回				第11回	アジアの音	楽			
第12回				第12回	ヨーロッパの	D音楽			
第13回				第13回	日本のポッ	プス			
第14回	I			第14回	民謡				
				שיית	八冊				

授業科目	基礎科目	担当科目	音楽基礎理論	<u></u>	単位数	2	選択	選択
区 分	基键 件日	担当符日	自米基啶连部	#1	時間数	30	必修	迭扒
担当教員]	高木房雄		受講学科	音	楽療法士学	科
但当秋貝					学 年		1年	
中次中华号			·有し、以下の実務経験 音楽科専門高校教諭、		5.			
実務家教員 としての経歴			長年日子の同校教訓、各種コンクール出場	· A A TX fX fX	XX 41+			
			ミアンサンブル、弦楽オ	ーケスト	ラ等を育成排	旨導 52年		
実務経験と 授 業								
	前期		水曜日 3時限		講義室等		201教室	
学期区分	後期				授業形式		講義	
授業目標およ	び概要	•			成績評価の	方法		
音楽の基礎的ける。]理論を繰り	返し学習し、	幅広い知識と応用力を	を身につ	価する。	授業態度、近	進度等から終	総合的に評
授業の進め方					教科書			
以来いたの力	<u> </u>							
講義、または氵	宇 翌				参考書			
神我、み/こは/	英 日							
	<u> </u>							
履修上の 注意事項								
	/ 4	++n\	授業の	計画		//\ <u>+\</u> +\r	11	
	1	前学期》		**		〈後 学 期	1)	
第1回	授業概要			第1回				
第2回	楽譜につい	て		第2回				
第3回	音符と休符	について		第3回				
第4回	音の長さ			第4回				
第5回	音の高さ			第5回				
第6回	その他の記]号		第6回				
第7回	その他の記	1号		第7回				
第8回	音程			第8回				
第9回	音程			第9回				
第10回	移動ドと固況	定ド		第10回				
第11回	移動ドと固況	定ド		第11回				
第12回	移動ドで歌	う		第12回				
第13回	音階			第13回				
第14回	音階			第14回				
第15回	まとめ			第15回				

授業科目	基礎科目	担当科目	日本の音楽		単位数	2	選択	選択
区 分	至诞17日	153140	ロ本の日末		時間数	30	必修	医1八
担当教員			藤田琴		受講学科	音	楽療法士学	科
	立めたはし			FA バナフ	学 年		1年	
実務家教員 としての経歴	放課後等デ	゙゙゙゙゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚	し、以下の通り実務経 での音楽療法 2年 療法 1年	験かめる	0			
			人音楽療法 2年					
実務経験と 授 業	音楽療法の 楽療法を実		活かし、将来音楽療法 を養う。	士を目指	す学生に必	要な日本の	曲への理解	を深め、音
学期区分	前期				講義室等		301教室	
于粉色刀	後期		月曜日 4時限		授業形式		講義	
授業目標およ	び概要				成績評価の	方法		
明治・大正・昭和の日本の童謡・唱歌、流行歌を知る。								
					教科書			
授業の進め方					歌の宝石箱	i1·2		
		節、対象者、	エピソードに視点を持	ち展開	参考書			
方法を身につ	ける。							
履修上の 注意事項								
			授 業 の	計画				
	〈育	立 学 期〉				〈後 学 期	>	
第1回				第1回	オリエンテー 歌の宝石箱			
第2回				第2回	歌の宝石箱	i1		
第3回				第3回	歌の宝石箱	i1		
第4回				第4回	歌の宝石箱	i1		
第5回				第5回	歌の宝石箱	i1		
第6回				第6回	歌の宝石箱	i1		
第7回				第7回	歌の宝石箱	i1		
第8回				第8回	歌の宝石箱	i1		
第9回				第9回	歌の宝石箱	i1		
第10回				第10回	歌の宝石箱	i2		
第11回				第11回	歌の宝石箱	i2		
第12回				第12回	歌の宝石箱	i2		
第13回				第13回	歌の宝石箱	i2		
第14回				第14回	歌の宝石箱	i2		
第15回				第15回	まとめ・発表	ξ		

授業科目	基礎科目	担当科目	編曲		単位数	2	選択	選択	
区 分	基 旋件日	担当符日	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →		時間数	30	必修	迭扒	
担当教員		唐	橋和奈枝		受講学科	音	楽療法士学	科	
7-1,550	***			EA 18上 3	学 年		3年		
=			し、以下の通り実務経 神経内科、消化器内)での音楽療	法 5年		
実務家教員としての経歴	精神科単科	病院での音	楽療法 5年						
20 (1) (1)			での音楽療法 11年、 ごス、自主グループ(発					¥療法等	
実務経験と 授 業			活かし、将来音楽療法					八水瓜寸	
学期区分	前期				講義室等		304教室		
于粉色刀	後期		木曜日 2時限		授業形式		講義		
授業目標およ	び概要				成績評価の	方法			
音楽療法の実習で求められる楽曲のアレンジの手法について学ぶ。									
					教科書				
授業の進め方	•				叙 件書				
実技を中心に	進める。				参考書				
履修上の 注意事項									
			授 業 の	計画					
	〈育	前 学 期〉			1	〈後 学 期	>		
第1回				第1回	オリエンテー	ーション			
第2回				第2回	伴奏パター	ンについて			
第3回				第3回	歌唱活動の	ためのアレ	ンジ① -		
第4回				第4回	歌唱活動の	ためのアレ	ンジ②		
第5回				第5回	歌唱活動の	ためのアレ	ンジ③		
第6回				第6回	楽器活動の	ためのアレ	ンジ ①		
第7回				第7回	楽器活動の	ためのアレ	ンジ②		
第8回				第8回	楽器活動の	ためのアレ	ンジ③		
第9回				第9回	鑑賞のため	のアレンジ	D		
第10回				第10回	鑑賞のため	のアレンジ②	2)		
第11回				第11回	鑑賞のため	のアレンジ③	3)		
第12回				第12回	弾き歌いの	ためのアレン	ノジ ①		
第13回				第13回	弾き歌いの	ためのアレン	ノジ②		
第14回				第14回	弾き歌いの	ためのアレン	ノジ ③		
第15回				第15回	まとめ				

授業科目区 分	基礎科目	担当科目	ソルフェー	ジュ I・Ⅱ	単位数時間数	2 60	選択必修	必修			
担当教員		÷6	藤真知子		受講学科	音	· 楽療法士学	科			
担ヨ教員				W 11 de 14	学 年		1年				
実務家教員			音楽1種、高等等 楽療法 9年	学校音楽1種の	資格を有し、	以下の通り乳	実務経験がる	ある。			
としての経歴		施設での集 基礎指導歴	団音楽療法 3年	∓ :機関受付•事	外歴 20年						
実務経験と	ピアノ、音楽)実務経験を活か			ます学生に必	要な音楽の	基礎知識			
	を養う。		 木曜日 3時隙	 艮	講義室等 201教室						
学期区分	後期		金曜日 3時限	艮	授業形式		実技				
授業目標およ	び概要		成績評価の	方法							
新曲視唱・視奏、聴音でリズム、音程等の読譜力を身につけ、現場に おいての実践に役立つ力を養う。 数科書											
授業の進め方	,		コールユー	ブンゲン							
				参考書	·						
実技練習·発表 	表					<u> </u>					
履修上の 注意事項											
,, x				業の計画							
	〈育	前 学 期〉			1	〈後 学 期	>				
第1回	授業概要			第1回	新曲視唱•神	児奏・聴音					
第2回	新曲視唱・神	視奏∙聴音		第2回	新曲視唱・神	児唱・聴音					
第3回	新曲視唱・神	視奏∙聴音		第3回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第4回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第4回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第5回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第5回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第6回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第6回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第7回	新曲視唱∙神	視奏∙聴音		第7回	新曲視唱•神	児唱•聴音					
第8回	新曲視唱∙神	視奏∙聴音		第8回	新曲視唱•神	児唱•聴音					
第9回	新曲視唱∙神	視奏・聴音		第9回	新曲視唱•神	児唱・聴音					
第10回	新曲視唱·神	視奏・聴音		第10回	新曲視唱•神	児唱・聴音					
第11回	新曲視唱・神	視奏·聴音		第11回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第12回	新曲視唱・神	視奏∙聴音		第12回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第13回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第13回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第14回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第14回	新曲視唱・神	児唱•聴音					
第15回	新曲視唱•神	視奏∙聴音		第15回	まとめ						

	1								
授業科目	┃ ┃基礎科目	担当科目		ピアノI・Ⅱ		単位数	2	選択	必修
区 分	2 % 11 1	2		(旧:ピアノI)	時間数	60	必修	را ک
担当教員		26	藤真領	:n. 		受講学科	音》	髤療法士学	科
担ヨ教貝		ענ	.膝具7	ш <u>т</u>		学 年		1年	
	音楽療法士	及び中学校	音楽1	種、高等学校音	番楽1種の	資格を有し、	以下の通り実	ミ務経験がな	ある 。
実務家教員		への個人音							
としての経歴		疑施設での集 は 歴史道典			亞什	7年 00年			
 実務経験と		纟基礎指導歷 ※基礎指導 <i>α</i>		医療機関:経験を活かし、料			オ学生に必	亜か音楽の	 其礎知識
	を養う。	C 坐 吨 旧 等 V	7 171	注意大される。	1) A D A 7	ж Д	17 TIC2.	女仿日本の	全從和咸
24 Ha — ()	前期	木	曜日	1時限/2時限		講義室等		201教室	
学期区分	後期	少	曜日	1時限/2時限		授業形式		実技	
授業目標およ	 び概要	l				成績評価の	 方法		
					-	口塔の幼羽	'∙授業態度∙'	中# #\$	
ピアノ奏法の。 て提供するた				カを養い、音楽組 る	尞法とし	口頃の練育	"按未忠及":	夫仅武殿	
CIRCINO	0,00 9 1x.03	X967174 C E	3 10 7	00					
					教科書				
授業の進め方	ī					ハノンピアノ	'教本、それぞ	ぞれの進度の	の楽譜
							2017 649		FIZHE
個人レッスン						参考書			
	1								
履修上の 注意事項									
上心争均				1111 AHE O	-1 - 				
	/->	<u>+ >></u> + #n\		授業の	計画		/		
	1	前 学 期〉					〈後 学 期〉	<i>></i>	
第1回	授業概要				第1回	後期試験曲	選定		
第2回	前期試験曲				第2回		のレッスン(7		
		 ヨのレッスン(バロぃ	カ)			ールおよびた のレッスン(i		
第3回		ールおよび			第3回		ールおよびた		
第4回		のレッスン(第4回		のレッスン(i		
77.10		ールおよび: 3のレッスン(у, .П		ールおよびた のレッスン(i		
第5回		ールおよび			第5回		ールおよびた		
第6回	前期試験曲	のレッスン(バロッ	ウ)	第6回	後期試験曲	のレッスン(i	古典派)	
		ールおよび: ヨのレッスン(ールおよびた のレッスン(i		
第7回		ールおよび			第7回		ールおよびた		
第8回	前期試験曲	3のレッスン(バロッ	ク)	第8回	後期試験曲	のレッスン(i	古典派)	
700		ールおよび: 3のレッスン(ールおよびた のレッスン(i		
第9回		ールおよび			第9回		ールおよびた		
第10回	前期試験曲	のレッスン(バロッ	(ク)	第10回	後期試験曲	のレッスン(i	古典派)	
27 IVE		·ールおよび: ヨのレッスン(ールおよびた のレッスン(i		
第11回		ールおよび			第11回		ロルおよびた		
第12回	前期試験曲	3のレッスン(バロッ	ク)	第12回	後期試験曲	のレッスン(i	古典派)	
# 14법		ールおよび			까나비		ールおよびた		
第13回		3のレッスン(・ールおよび:			第13回		のレッスン(i ールおよびた		
第14回	前期試験曲	のレッスン(バロッ	(ク)	第14回	後期試験曲	のレッスン(i	古典派)	
第14四		ールおよび			- 第14凹		ールおよびた		
第15回		のレッスン(ールおよび)			第15回		のレッスン(i ールおよびた		
	ma /	, v 00 6 0°,	,			T W4 < / / /	/ = 03 th O-7.	., . ,	

授業科目	┃ ┃基礎科目	担当科目	ギタ		単位数	1	選択	必修
区 分	全版行口	15 314 6	(旧:井	ドター)	時間数	30	必修	紀刊
担当教員		-	 比沢泰之		受講学科	音	楽療法士学	!科
					学 年		2年	
実務家教員								
としての経歴								
 実務経験と								
美術柱駅C 授 業								
学期区分	前期		火曜日 2時	退	講義室等		校外施設	
	後期				授業形式		実技	
授業目標およ	び概要		成績評価の)方法				
ギター奏法をを目標とする。		び、弾き語りだ	ができ、音楽療え	去士試験合格	授業への取	ひり組み度		
15 Mr = 14 .1 -1	教科書							
授業の進め方	Ī							
7W + = T					参考書			
弾き語り								
	_							
履修上の 注意事項							_	
		!!=:	授	業の計画				
		前 学 期〉				〈後 学 期]>	
第1回	オリエンテ-	ーション		第1回				
第2回	基礎(構え)	方、コード、ス	(トローク)	第2回				
第3回	基礎(構え)	方、コード、ス	ベトローク)	第3回				
第4回	基礎(構え)	方、コード、ス	(トローク)	第4回				
第5回	基礎(構え)	方、コード、ス	(トローク)	第5回				
第6回	基礎(構え)	方、コード、ス	ベトローク)	第6回				
第7回	基礎(構え)	方、コード、ス	ベトローク)	第7回				
第8回	弾き語り			第8回				
第9回	弾き語り			第9回				
第10回	弾き語り			第10回				
第11回	弾き語り			第11回				
第12回	弾き語り			第12回				
第13回	弾き語り			第13回				
第14回	弾き語り			第14回				
第15回	発表			第15回				

授業科目	基礎科目	担当科目		声楽Ⅰ・Ⅱ		単位数	2	選択	選択
区 分	1.2111	,		(旧:声楽Ⅰ))	時間数	60	必修	~
担当教員		3	高木房雄			受講学科	音	楽療法士学	科
正二秋貝		П				学 年		1年	
				下の実務経験					
				門高校教諭		交長 41年			
としての経歴						ラ等を育成指	€道 52年		
実務経験と 授 業						まず学生に必		 養う。	
	前期		月曜日	4時限		講義室等		201教室	
学期区分	後期		月曜日	3時限		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要					成績評価の	方法		
呼吸法および い美しい声を			つけ、より	遠くに通る無	理のな	試験、授業的	態度		
I 30 - 50 .1 I						教科書			
授業の進め方	Ī					コンコーネ5	0番、イタリア	'歌曲集	
/m	-> L 7 (* L *) ()	⊰ ı				参考書			
個人レッスンa 	っよひグルー	・プレッスン							
履修上の 注意事項									
	l			授 業 の	計画				
	〈前	前 学 期〉					〈後 学 期	>	
第1回	授業概要				第1回		ı一ネNo.40~	-50	
77.1		コーネNo.26~	~ 30			イタリア歌曲	∃ ıーネNo.40~	×50	
第2回	イタリア歌曲		00		第2回	イタリア歌曲	•	30	
第3回	発声 コンコ イタリア歌曲		~39		第3回	イタリア歌曲			
第4回	イタリア歌曲				第4回	イタリア歌曲			
第5回	イタリア歌曲				第5回	発声 コンコイタリア歌曲	ɪ一ネNo.40~ ∃	√ 50	
第6回	イタリア歌曲				第6回	イタリア歌曲			
第7回	イタリア歌曲				第7回	イタリア歌曲			
第8回	イタリア歌曲				第8回	イタリア歌曲			
第9回	イタリア歌曲				第9回	イタリア歌曲			
第10回	イタリア歌曲				第10回	イタリア歌曲			
第11回	イタリア歌曲				第11回	イタリア歌曲			
第12回	イタリア歌曲				第12回	イタリア歌曲			
第13回	イタリア歌曲				第13回	イタリア歌曲			
第14回	発声 コンコ イタリア歌曲	コーネNo.26~ 自	~39		第14回	発声 コンコ イタリア歌曲	ıーネNo.40~ ∃	√ 50	
					-				

古 华 艺 口					出生粉	0		
授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	声楽Ⅲ•Ⅳ (旧∶声楽Ⅱ		単位数 時間数	2 		選択
<u> </u>			(12.7, 71.2		受講学科	音楽療法		:1
担当教員		<u>-</u> 11	高木房雄		学年	2年		<u> </u>
	高校教諭一	·級の資格を	有し、以下の実務経験	<u></u> 験がある。	7 +	2-		
実務家教員	公立高校音	楽科教諭、	音楽科専門高校教諭	ì、公立校标	交長 41年			
としての経歴			、各種コンクール出場		= 佐 	公		
 実務経験と			ギアンサンブル、弦楽 活かし、将来音楽療				; 倫理	と技術 しんしょう
授 業			の感性を養う。	A_C	.,,	× 04-76-70-74-19	••• IIII	
学期区分	前期		月曜日 3時限		講義室等	201孝	数室	
	後期		月曜日 4時限		授業形式	実:	技	
授業目標およ	び概要				成績評価の	方法		
			音楽療法現場等で応	が用できる	試験、授業	態度		
豊かな響きの	の句戸と、歌	「旧法を獲得	9 තිං					
15 Alle = 17	_				教科書			
授業の進め方	Ī				コンコーネ5	0番、イタリア歌曲:	集	
					参考書			
個人レッスンを	を取り入れな	がら集団授	業					
					サルバトー 	ノ・マルケージ		
履修上の 注意事項								
			授 業 σ.	計画				
	〈前	が 学 期〉				〈後 学 期〉		
第1回	基本原理•	発声器官 美	しい声を聞く	第1回		発声共鳴器官確認 ヨ・ドイツ歌曲		
第2回	基本原理・4	発声器官•呼		第2回	基本原理・多	発声共鳴器官確認		
						∃・ドイツ歌曲 発声共鳴器官確認		
第3回			能確認・母音唱法	第3回	イタリア歌曲	ョ・ドイツ歌曲		
第4回	基本原理・ラ		認•母音唱法	第4回		発声共鳴器官確認 ヨ・ドイツ歌曲		
第5回	基本原理・	共鳴器官確認	認•母音唱法	第5回	基本原理・多	発声共鳴器官確認		
-	コンコーネ5		☑•母音唱法			ョ・ドイツ歌曲 発声共鳴器官確認		
第6回	コンコーネ5	0番		第6回	イタリア歌曲	・ドイツ歌曲		
第7回	基本原理・ラコンコーネ5		認•母音唱法	第7回		発声共鳴器官確認 B・オペラ・ミュージ:		
——————— 第8回	基本原理・	共鳴器官確認	忍•母音唱法	第8回	基本原理・多	発声共鳴器官確認		
-		0番・イタリア 共鳴器官確認	′歌曲 忍·母音唱法			i・オペラ・ミュージ: 発声共鳴器官確認		
第9回	コンコーネ5	0番・イタリア	'歌曲	第9回	イタリア歌曲	i・オペラ・ミュージ :	カル	
第10回		共鳴器官確認 0番・イタリア	忍·母音唱法 ′歌曲	第10回		発声共鳴器官確認 B・オペラ・ミュージ:		
第11回 第11回	基本原理・	共鳴器官確認	忍∙母音唱法	第11回	基本原理・多	発声共鳴器官確認		
		0番・イタリア 共鳴器官確言	′歌曲 涊▪母音唱法			i・オペラ・ミュージ: 発声共鳴器官確認		
第12回	コンコーネ5	0番・イタリア	"歌曲	第12回	イタリア歌曲	ョ・オペラ・ミュージ	カル	
第13回			涊▪母音唱法 ╯᠉.曲	第13回		発声共鳴器官確認 ヨ・オペラ・ミュージ:		
─────		0番・イタリア 共鳴器官確認	歌曲 忍•母音唱法	笠14回		ピカハフ・ミューン 発声共鳴器官確認		2天仏
第14回		0番・イタリア		第14回	イタリア歌曲	a·オペラ·ミュージ:	カル・簿	奏法
第15回	まとめ			第15回		発声共鳴器官確認 ヨ・オペラ・ミュージ:		奏法
	1			1			12	

授業科目	<u> </u>		 ピアノⅢ	• TV7	単位数	2	選択	
区 分	基礎科目	担当科目	(旧:ピア		時間数	60	必修	選択
担当教員		䜣	藤真知子		受講学科	音	楽療法士学	科
	立めませて			は立めばる 。	学年	いてのほしば	2年	- 7
実務家教員			音楽1種、高等学校 楽療法 9年	校首楽1種の1	食格を有し、	以下の通り割	ミ務経験かる	ත් තිං
としての経歴	障害者支援	施設での集	団音楽療法 3年					
 実務経験と		$ullet$ 基礎指導歷 $ullet$ 基礎指導 $oldsymbol{\sigma}$	20年 医療機 シ実務経験を活かし	と	-	ませまに必	要な音楽の	其礎知識
授業	を養う。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ス· 村 木 日 木 //	ждтепп		女话日本の	圣灰和威
学期区分	前期	슆	· 全曜日 1時限•2時	限	講義室等		201教室	
	後期				授業形式 成績評価の	\ :+		
授業目標および	入 似 安				DX.和[計1回 0 2	7万法		
ピアノ奏法の基 提供するため <i>の</i>			する力を養い、音ぎ する。	楽療法として	日頃の練習	ŀ·授業態度∙	実技試験	
15: 44: 0 14: 1 1					教科書			
授業の進め方					ハノンピアノ	′教本、それる	ぞれの進度	の楽譜
個人レッスンお	よびグルー‐	プレッスン			参考書			
					特になし			
履修上の注意 事項								
			授 業	の計画				
	〈前	」学期》			I	〈後 学 期	>	
第1回	前期試験曲			第1回	後期試験曲			
第2回		oレッスン(パジオおよび		第2回		lのレッスン() ペジオおよひ		
第3回	前期試験曲	0レッスン(ロマン派)	第3回	後期試験曲	のレッスン(近•現代)	
第4回		·ペジオおよび Bのレッスン(第4回		·ペジオおよひ Iのレッスン(i		
		·ペジオおよび Bのレッスン(·ペジオおよひ ·のレッスン()		
第5回	全調のアル	ペジオおよび	ゾカデンツ	第5回	全調のアル	ペジオおよて	バカデンツ	
第6回		のレッスン(ペジオおよび		第6回		lのレッスン(i ペジオおよび		
第7回		oレッスン(ペジオおよび		第7回		のレッスン() ペジオおよび		
第8回	前期試験曲	oレッスン(ペジオおよび	ロマン派)	第8回	後期試験曲	のレッスン(i ペジオおよひ	近•現代)	
第9回	前期試験曲	ロロッスン(パジオおよび	ロマン派)	第9回	後期試験曲	のレッスン() ペジオおよび	近•現代)	
第10回	前期試験曲	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロマン派)	第10回	後期試験曲	ロング 83 & C ロのレッスン (ディング 10 とうだい こうだい こうだい こうだい こうだい こうだい こうだい こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうな	近•現代)	
第11回	前期試験曲	ロング 83 & C ロレッスン(パジオおよび	ロマン派)	第11回	後期試験曲	ハンカ およし のレッスン() ペジオおよし	近•現代)	
第12回	前期試験曲	のレッスン(ロマン派)	第12回	後期試験曲	のレッスン(近•現代)	
第13回	前期試験曲	パジオおよび Bのレッスン(ペジオかとな	ロマン派)	第13回	後期試験曲	ペジオおよひ ロロッスン()	近•現代)	
第14回	前期試験曲	パジオおよび Bのレッスン(ペジナヤット	ロマン派)	第14回	後期試験曲	ペジオおよひ のレッスン()	近•現代)	
		·ペジオおよび Bのレッスン(後期試験曲	·ペジオおよひ Iのレッスン(i	近•現代)	
第15回		ペジオおよび		第15回		ペジオおよび		

授業科		基礎科目	担当科目	ギター Ⅱ (旧:ギター)		単位数	1	選択必修	選択
区	分			(ロ.イメー)		時間数	30		.T.I
担当教員	1		;	北沢泰之		受講学科	首	楽療法士学	
						学 年		2年	
実務家教としての経									
実務経験 授	と業								
学期区分	_	前期				講義室等		校外施設	
于粉色方)	後期		火曜日 2時限		授業形式		実技	
授業目標は	よど	び概要				成績評価の	方法		
ギター奏法 を目標とす			ゞ、弾き語り	ができ、音楽療法士討	 (験合格	授業への取 教科書	なり組み度		
授業の進め	カ方	i							
弾き語り						参考書			
履修上σ 注意事項									
					計画				
		〈前	前 学 期〉				〈後 学 期	1>	
第1回					第1回	オリエンテー	ーション		
第2回					第2回	弾き語り			
第3回					第3回	弾き語り			
第4回					第4回	弾き語り			
第5回					第5回	弾き語り			
第6回					第6回	弾き語り			
第7回					第7回	弾き語り			
第8回					第8回	課題曲への	取り組み		
第9回					第9回	課題曲への	取り組み		
第10回					第10回	課題曲への	取り組み		
第11回					第11回	課題曲への	取り組み		
第12回					第12回	課題曲への	取り組み		
第13回					第13回	課題曲への	取り組み		
第14回					第14回	課題曲への	取り組み		
第15回					第15回	発表			

授業科目	基礎科目	担当科目		器楽I		単位数	1	2511	選択
区 分						時間数	30		
担当教員		7	万井聡恵			受講学科	<u> </u>	楽療法士学	·
						学 年		1年	
実務家教員									
としての経歴									
実務経験と 授 業									
学期区分	前期					講義室等		204教室	
	後期	木	曜日 3•4	時限(隔週)		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要					成績評価の	方法		
様々な現場に学ぶ。	対応できる。	多様な楽器を	を用いた小	規模アンサ	ンブルを	授業への取	り組み度		
15.44 O.14 II -						教科書			
授業の進め方	T								
各イベント向け	+楽曲のアレ	いご笑工夫	辛楽づく	りを准める		参考書			
	/来皿のプレ	ンプサエ 人	し日末ノ	うと述める。	•				
履修上の 注意事項									
				授業の	計画				
	〈育	前 学 期〉		授業の		I	〈後 学 期	 >	
第1回	〈育	前学期〉		授 業 の	計 画 第1回	器楽演習	〈後 学 期	1 >	
第1回 第2回	〈育	が 学 期〉		授業の		器楽演習 器楽演習	〈後 学 期	1)	
	〈育	前学期〉		授業の	第1回		〈後 学 期	1>	
第2回	〈育	前学期〉		授業の	第1回	器楽演習	〈後 学 期	1>	
第2回	〈育	前学期〉		授業の	第1回 第2回 第3回	器楽演習器楽演習	〈後 学 期	1)	
第2回 第3回 第4回	〈育	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回	器楽演習 器楽演習 器楽演習	〈後 学 期		
第2回 第3回 第4回 第5回	〈育	方学期〉		授業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	器楽演習 器楽演習 器楽演習 器楽演習	〈後 学 期		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	〈育	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	器楽演習 器楽演習 器楽演習 器楽演習 器楽演習			
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	〈有	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	器楽演習 器楽演習 器楽演習 器楽演習 器楽演習	に向けた曲	作り	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	〈育	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	器樂演習 器樂演習 器樂演習 器樂演習 器樂演習 器樂演習	に向けた曲	作り	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	〈有	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	器樂演習器樂演習器樂演習器樂演選器樂演演習器樂演演習器樂演演習器樂演演演選器樂演演奏奏会会	:に向けた曲 :に向けた曲 :に向けた曲	作り 作り 作り	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	〈有	が 学 期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	器樂演習器樂演習器樂演演習器樂演演習器樂演演演習器樂演演演演演演演演演演演演奏奏会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲	作り 作り 作り	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	〈有	f 学 期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第9回 第10回 第11回	器樂演習器樂演演習器樂演演演習習習習習習習習習過過數學與演演演演演演演演演演演演演演演演演演演奏奏奏会会会会会会会会会会会会会会会会	に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲	作り 作り 作り 作り	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	〈有	前学期〉		授 業 の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第9回 第10回 第11回 第12回	器 樂 楽 楽 海 演 演 習 習 習 習 習 習 習 習 要 寒 楽 期 期 期 期 演 演 奏 奏 奏 会 会	に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲 に向けた曲	1作り 1作り 1作り 1作り 1作り	

T22 WH T-1 D								
授業科目	基礎科目	担当科目	器楽Ⅱ		単位数	1	251/	選択
区 分					時間数	30		
担当教員		7	 日井聡恵		受講学科	首	楽療法士学	<u>料</u>
					学 年		2年	
実務家教員								
としての経歴								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期				講義室等		204教室	
	後期	木	曜日 3·4時限(隔週)		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要				成績評価の)方法		
の演奏スキル	を高める。		法臨床場面で求められる は者と音楽を作る技術な			発表による	評価	
授業の進め方	•				教科書			
技業の進め万	<u>'</u>				-			
各自臨床場面	「を想定して、	課題曲を選	░曲。発表に向けて練	習を行う。	参考書			
				361370				
履修上の 注意事項								
			授 業 の	計画				
	〈育	前 学 期〉			I	〈後 学 期	月〉	
第1回	〈育	前学期》		第1回	器楽演習(月〉	
第1回 第2回	〈育	前学期〉		第1回	器楽演習(器楽演習(管打楽器)	Я>	
-	〈育	前学期》				管打楽器)	A)	
第2回	〈 育	前学期〉		第2回	器楽演習(管打楽器)		
第2回	〈 育	前 学 期〉		第2回	器楽演習(管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) セッション現		
第2回 第3回 第4回	(有	前学期》		第2回 第3回 第4回	器楽演習(器楽演習(器楽演奏	管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) セッション現 管打楽器)		
第2回 第3回 第4回 第5回	(育	対学期〉		第2回 第3回 第4回 第5回	器楽演習(器楽演習(器楽演奏 器楽演習(管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) セッション現 管打楽器)		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	(有	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	器楽演習(器楽演習(器楽演習(器楽演習(器楽演習(管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) セッション現 管打楽器)	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	〈 育	が学期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	器楽演習(器楽演習(器楽演習(器楽演習(器楽演習(管打楽器) 管打楽器) を打楽器) 管打楽器) 管打楽器) で打楽器)	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	〈 自	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器)	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	(f	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(器樂演習(管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) で打楽器) で打楽器)	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	〈 有	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	器 樂 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 演 演 演 演 演 演 演 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 图 (8	管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) 管打楽器) で打楽器) で打楽器)	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	〈 有	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	器 樂 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 演 演 演 演 演 演 演 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 留 (器 樂 演 演 窗 图 (8	管打楽器)管打楽器)管打楽器)で打楽器をです。 ででででできます。 では、 できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	場での事例	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第11回	(有	が 学 期〉		第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第10回 第11回 第12回 第13回	器樂演習(器樂演演習(器樂演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演演	管打楽器)管打楽器)管打楽器)管打楽器)で打打打打打が変える。では、「おり」をは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	場での事例	

授業科目	基礎科目	担当科目			単位数	2	選択	
区 分	1200	2	1 1 0		時間数	60	必修	
担当教員		7	高木房雄		受講学科	音	楽療法士学	科 ————————————————————————————————————
	高校教諭—	・級の資格を	有し、以下の実務経駅	命がある。	学 年		1年	
実務家教員			音楽科専門高校教諭		校長 41年			
としての経歴			、各種コンクール出場	L / ¬1'	- ** * * *	ジ		
実務経験と			ミアンサンブル、弦楽ス 活かし、将来音楽療法				な知識、倫理	型と技術。
授業			D感性を養う。	47611	17] ±1-25	又吃些能力		, m V
学期区分	前期		水曜日 4時限		講義室等		201教室	
	後期				授業形式		実技	
授業目標およ	ひ概要				成績評価の	万法		
	の協調性を育		・ンブルに必要なバラン 対象者とのコミュニケ		実技評価			
	•				教科書			
汉本公定07月					コンコーネ5	0番、合唱曲	集	
┃ パート練習を耳	でいる わかか	ぶんの集団坪	· 坐		参考書			
八 「帰れ日で」	メップィいみり	・りの未団技	·*		合唱のため	のエチュート	*	
履修上の 注意事項								
			授業の	計画				
		竹学期》	マイー ドロ羽 治夫		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	〈後学期	•	133 Yan #
第1回	曲参考映像	鑑賞	エチュード実習・演奏	第1回	曲参考映像			
第2回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第2回	発声器官確 曲参考映像	認・声出し・: 鑑賞	エチュード実	¦習∙演奏
第3回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第3回	発声器官確 曲参考映像	認・声出し・ 鑑賞	エチュード実	¦習∙演奏
第4回		認・声出し・	エチュード実習・演奏	第4回		認・声出し・	エチュード実	習・演奏
第5回	発声器官確曲のパート		エチュード実習・演奏	第5回	曲のパート			
第6回	曲のパート	練習	エチュード実習・演奏	第6回	曲のパート			
第7回	曲のパート	練習•全体網		第7回	曲のパート	認・声出し・. 練習・全体練	習	
第8回	曲のパート	練習•全体網		第8回	曲のパート	認・声出し・ 練習・全体練	習	
第9回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第9回	習・少人数パー	・声出し・エチュ・ -トアンサンブル	の充実	
第10回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第10回	習・少人数パー	・声出し・エチュ· -トアンサンブル	の充実	
第11回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第11回	習・少人数パー	・声出し・エチュ· -トアンサンブル	の充実	
第12回	発声器官確認 練習·少人数/		ード実習・演奏曲のパート ブルの充実	第12回		・声出し・エチュ [.] -トアンサンブル		田のバート練
第13回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第13回	習・少人数パー	・声出し・エチュ・ -トアンサンブル	の充実	
第14回	曲のパート	練習•全体台	エチュード実習・演奏	第14回	曲のパート	認・声出し・ 練習・全体合	唱発表準備	Ī
第15回			エチュード実習・演奏 は唱発表準備	第15回		認・声出し・ 練習・全体合		

授業科目	基礎科目	担当科目			単位数	2	選択	選択
区 分	2-WC11-11	12-11-1	I THE		時間数	60	必修	
担当教員		7	高木房雄		受講学科	音	楽療法士学	科 ————
	享 校教諭—	-級の咨枚を	有し、以下の実務経験	針がある	学 年		2年	
実務家教員			音楽科専門高校教諭。		交長 41年			
としての経歴			、各種コンクール出場	L / =1.	- <i>**+</i> -	☆ 5.1 ケ		
 実務経験と			ミアンサンブル、弦楽オ 活かし、将来音楽療法				な知識、倫理	 単と技術、
授業			の感性を養う。					
学期区分	前期		水曜日 4時限		講義室等		201教室	
授業目標およ	後期 び概要				授業形式 成績評価の	古 注	<u>実技</u>	
技术口信のよ	UM安				八八八月 二十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7374		
	の協調性を育		ナンブルに必要なバラン 対象者とのコミュニケ・		実技評価			
授業の進め方					教科書			
1又未い進の7万	'				コンコーネ5	0番、合唱曲	集	
┃ パート練習を耳	かしる わナンチ	この集団ゼ	. W		参考書			
ハード採目で	メッ ノイいなり	'60米四段	**		合唱のため	のエチュード	:	
履修上の 注意事項								
			授 業 の	計画				
		前学期》	エチュード実習・演奏		& 士 吧 宁 <i>在</i>	〈後学期	•	羽。冷去
第1回	曲参考映像	鑑賞		第1回	曲参考映像			
第2回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第2回	発声器官確 曲参考映像	認・声出し・: 鑑賞	エチュード実	習・演奏
第3回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第3回	発声器官確 曲参考映像	認・声出し・ 鑑賞	エチュード実	習・演奏
第4回		霞・声出し・	エチュード実習・演奏	第4回		認・声出し・	エチュード実	習・演奏
第5回	曲のパート	練習	エチュード実習・演奏	第5回	曲のパート			
第6回	曲のパート	練習	エチュード実習・演奏	第6回	曲のパート			
第7回	曲のパート	練習•全体網		第7回	曲のパート	認・声出し・. 練習・全体練	習	
第8回	曲のパート	練習•全体網		第8回	曲のパート	認・声出し・ 練習・全体練	習	
第9回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第9回	習・少人数パー	・声出し・エチュ· -トアンサンブル	の充実	
第10回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第10回	習・少人数パー	・声出し・エチュ· -トアンサンブル	の充実	
第11回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第11回	習・少人数パー	・声出し・エチュ・ -トアンサンブル	の充実	
第12回		・声出し・エチュペートアンサンス	ード実習・演奏曲のパート ブルの充実	第12回		・声出し・エチュ -トアンサンブル		曲のハート練
第13回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第13回	習・少人数パー	・声出し・エチュ -トアンサンブル	の充実	
第14回	曲のパート	練習·全体合	エチュード実習・演奏	第14回	曲のパート	認・声出し・	唱発表準備	Ī
第15回			エチュード実習・演奏 哈唱発表準備	第15回		認・声出し・ 練習・全体合		

授業科目	基礎科目	担当科目			単位数	2	選択	
区 分					時間数	60	必修	
担当教員		7	高木房雄		受講学科	音	楽療法士学 	枓 ————
	喜 校教諭—	-級の咨枚を	有し、以下の実務経験	金がある	学 年		3年	
実務家教員			音楽科専門高校教諭。		交長 41年			
としての経歴			、各種コンクール出場		- ** * - * 1	** -		
実務経験と			ミアンサンブル、弦楽オ 活かし、将来音楽療法				か知識 倫理	里と技術
授業			D感性を養う。	A T C D 16	17 7 1 22	女な圣诞印	6 大田成、 Im を	
学期区分	前期		水曜日 4時限		講義室等		201教室	
	後期				授業形式		実技	
授業目標およ	ひ概要				成績評価の	万法		
	の協調性を育		-ンブルに必要なバラン 対象者とのコミュニケ·		実技評価			
					教科書			
以本い匹の刀					コンコーネ5	0番、合唱曲	集	
┃ パート練習を耳	かしょ かナニム	この年 田垣	**		参考書			
ハート森白を見	メッ グれいより	の未図技	·未		合唱のため	のエチュード	*	
履修上の 注意事項								
			授 業 の	計画				
		が 学 期〉	マイー ドウマックギ		**	〈後学期	•	133 14 #
第1回	曲参考映像	鑑賞	エチュード実習・演奏	第1回	曲参考映像			
第2回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第2回	曲参考映像			
第3回	発声器官確 曲参考映像		エチュード実習・演奏	第3回	発声器官確 曲参考映像	認・声出し・ 鑑賞	エチュード実	習・演奏
第4回		認・声出し・	エチュード実習・演奏	第4回		認・声出し・	エチュード実	習∙演奏
第5回	発声器官確曲のパート		エチュード実習・演奏	第5回	曲のパート			
第6回	曲のパート	練習	エチュード実習・演奏	第6回	曲のパート			
第7回	曲のパート	練習•全体網		第7回	曲のパート	認・声出し・. 棟習・全体練	習	
第8回	曲のパート	練習•全体網		第8回	曲のパート	認・声出し・1 棟習・全体練	習	
第9回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第9回	習・少人数パー	・声出し・エチュ・ -トアンサンブル	の充実	
第10回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第10回	習・少人数パー	・声出し・エチュ· -トアンサンブル	の充実	
第11回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第11回	習・少人数パー	・声出し・エチュ・ -トアンサンブル	の充実	
第12回		・声出し・エチュ ペートアンサンフ	ード実習・演奏曲のパート ブルの充実	第12回		・声出し・エチュ -トアンサンブル		囲のバート練
第13回	練習・少人数/	パートアンサンフ		第13回	習・少人数パー	・声出し・エチュ -トアンサンブル	の充実	
第14回	曲のパート	練習•全体合	エチュード実習・演奏	第14回	曲のパート	認・声出し・: 練習・全体合	唱発表準備	Ī
第15回			エチュード実習・演奏 は唱発表準備	第15回		認・声出し・ 棟習・全体合		

授業科目	∥基礎科目	担当科目	合奏①		単位数	2	選択必修	選択
区 分					時間数	60		
担当教員		7	石井聡恵		受講学科 学 年	首	楽療法士学 1年	·
					, –		- 1	
実務家教員としての経歴								
20 (17 (17))								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期		火曜日 3時限		講義室等		204教室	
	後期		八曜日 6時限		授業形式		実技	
授業目標およ	ひ概要				成績評価の)万法		
吹奏楽を中心	として、各人	の楽器演奏	技術の向上を、それ	を基とした	実技評価			
	_				教科書			
授業の進め方]				-			
パート練習を	取り入れなか	べい 集団授	業		参考書			
履修上の 注意事項								
	•		授業(の計画				
	〈前	前 学 期〉			_	〈後 学 期]>	
第1回	楽器決め、	パート決め		第1回	合奏中級•	後期曲決め		
第2回	個人・パー	卜練習		第2回	クリスマス=	コンサートに「	向けた取り糸	且み
第3回	個人・パー	卜練習		第3回	クリスマスコ	コンサートに「	向けた取り糸	且み
第4回	個人・パー	ト練習、合奏	参加	第4回	クリスマス=	コンサートに「	向けた取り糸	且み
第5回	個人・パート	ト練習、合奏	参加	第5回	クリスマスコ	コンサートに	向けた取り糺	且み
第6回	基礎合奏∙	合奏課題		第6回	クリスマスコ	コンサートに	向けた取り糸	且み
第7回	基礎合奏∙	合奏課題		第7回	クリスマス=	コンサートに	向けた取り糸	且み
第8回	基礎合奏∙	合奏課題		第8回	クリスマス=	コンサートに	向けた取り糸	且み
第9回	基礎合奏∙	合奏課題		第9回	定期演奏会	に向けた取	り組み	
第10回	基礎合奏∙	合奏課題		第10回	定期演奏会	に向けた取	り組み	
第11回	基礎合奏∙	合奏課題		第11回	定期演奏会	に向けた取	り組み	
第12回	基礎合奏∙	合奏課題、全	全学年で合奏	第12回	定期演奏会	に向けた取	り組み	
第13回	基礎合奏•	合奏課題、全	全学年で合奏	第13回	定期演奏会	に向けた取	り組み	
第14回	基礎合奏•	合奏課題、全	全学年で合奏	第14回	定期演奏会	ミリハーサル	等 等	
第15回	基礎合奏∙	合奏課題、全	 È学年で合奏	第15回	定期演奏会	ミリハーサル	——— 等	

授業科目	基礎科目	担当科目		合奏②		単位数	2	X=21/ \	選択
区 分						時間数	60	必修	
担当教員		7	石井聡恵			受講学科 学 年		楽療法士学 	:科
						子 +		2++	
実務家教員としての経歴									
としての程度									
実務経験と 授 業									
学期区分	前期		火曜日	2時間		講義室等		204教室	
	後期		八唯口	OLIT PLX		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要					成績評価の)方法		
吹奏楽を中心 合奏を行う。 気 る。						授業への取	り組み		
授業の進め方	ī					教科書			
基礎練習と合	奏					参考書			
履修上の 注意事項									
	•			授業の	計画				
	〈 <u>育</u>	前 学 期〉				I	〈後 学 期	>	
第1回		が 学 期〉パート決め、	曲決め		第1回	合奏中級、		>	
第1回 第2回	楽器決め、				第1回				且み
	楽器決め、	パート決め、				クリスマス=	曲決め	句けた取り約	
第2回	楽器決め、	パート決め、パート・個人			第2回	クリスマス= クリスマス=	曲決め	向けた取り約	組み
第2回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏	パート決め、パート・個人			第2回	クリスマス= クリスマス= クリスマス=	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約	目み
第2回 第3回 第4回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1)			第2回 第3回 第4回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス=	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約	目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1)			第2回 第3回 第4回 第5回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス=	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約	目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (1)			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス=	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏 まとめ	パート決め、 パート・個人 *① *① *① *①			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス=	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	楽器決め、 合 課題 曲 会 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏	パート決め、 パート・個人 *① *① *① *② *②			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= 定期演奏会	曲決め 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに 1ンサートに	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 句けた取り約	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	楽器決め、 合奏基 課題 曲 合合 含奏 奏奏	パート決め、 パート・個人 *① *① *① *② *② *②			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= クリスマス= 定期演奏会	曲決め 1ンサートに「	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 り組み り組み	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	楽器決め、表基は、表基は、表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2)			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ 定期演奏会 定期演奏会	曲決め 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1ンサートに「 1に向けた取	向けた取り約 向けた取り約 向けた取り約 向けた取取り約 向けた取取り約 向けた取り約 り組み り組み り組み	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	楽器を表している。	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回	クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ 定期演奏会 定期演奏会	曲決め コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンサートに「コンナートに「コンナートに「ない」に向けた取らに向けた取らに向けた取らに向けた取らに向けた取りに「こうない」	向けた取り約 向けた取り約 向けた取取り約 向けけた取取りり 向けけた取取取りり り組みりり り組み り組み	目み 目み 目み 目み
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第11回	楽器を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養を養養	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)			第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	クリスマスニ クリスマスニ クリスマスニ クリススマスニ クリススマスニ クリススマスニ クリカリススマスニ 定期演演奏 定期演奏奏会 定期演奏奏会	曲決め コンサートに「 コンドに「 コンド コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンドに「 コンド コンドに「 コンド コンド コンド コンド コンド コンド コンド コンド	向けた取り約 向けた取り約 向けた取取り約 向けけたた取取りり 向けけたたい 取取りり り 組みり り り り り り り り り り り り り り り り り	目み 目み 目み 目み

授業科目区 分	基礎科目	担当科目	合奏	3	単位数時間数	60	選択必修	選択
			厂共吸责		受講学科			———— 科
担当教員			万井聡恵 ————————————————————————————————————		学 年		3年	
実務家教員								
としての経歴								
実務経験と								
授業	前期				講義室等		204教室	
学期区分	後期		火曜日 3時限		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要				成績評価の	方法		
			技術の向上を、そ 発表の場でその!		100年100年	り組み		
授業の進め方	ī				教科書			
基礎練習と合	奏				参考書			
履修上の					I			
注意事項								
注意事項			授業	の計画				
		前学期〉	<u></u>		T	〈後 学 期	>	
第1回		ή 学 期〉 パート決め、	<u></u>	第1回	合奏中級、[>	
	楽器決め、		曲決め					l _A
第1回	楽器決め、	パート決め、	曲決め	第1回	クリスマスコ	曲決め	句けた取り組	
第1回	楽器決め、合奏基礎、	パート決め、パート・個人	曲決め	第1回 第2回	クリスマスコ	曲決め ンサートに向	向けた取り組]み
第1回 第2回 第3回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1)	曲決め	第1回 第2回 第3回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに向 ンサートに向	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組	lみ lみ
第1回 第2回 第3回 第4回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組	14 14 14
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏	パート決め、 パート・個人 (① (① (① (①)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	楽器決め、 合奏基礎、 課題曲合奏 課題曲合奏 課題曲合奏 まとめ	パート決め、 パート・個人 *① *① *① *①	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	楽器決め、 合 課題 曲 合 会 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏	パート決め、 パート・個人 (*① (*① (*① (*②) (*②)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ	曲決め ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 に向けた取	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 切けた取り組	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	楽器決め、 合 課題 曲 合 合 合 含 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ 定期演奏会	曲決め ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 ンサートに応 に向けた取	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 りはか り組み り組み	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	楽器決め、 合 課題 曲 合 合 合 合 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏 奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ 定期演奏会 定期演奏会	曲決め ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 ンサートに向 に向けた取 に向けた取	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 向けた取り組 りはか り組み り組み	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	楽器を表している。 は、	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ 定期演奏会 定期演奏会	曲決め ンサートに応 ンサートに応 ンササートに応 ンササートに応 ンサウートに応 に向けた取 に向けた取 に向けた取	向けた取り組 向けた取り組 向けた取り 向けた取り 向けた取り 向けた取り 切けた取り り 切り り り り り り り り り り り り り り り り り	A A A A
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	楽を奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏奏	パート決め、 パート・個人 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2)	曲決め	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第11回	クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ クリスマスコ 定期演奏会 定期演奏会	曲決め ンサートに応 ンサートに応 ンササートに応 ンササートに応 に応 に応 にに応 にに応 ににに にに にに にに に	向けた取り組 向けた取り組 向けた取取り 向けた取取り 向けた 取り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	A A A A

授業科目	基礎科目	担当科目	音楽療法概	····	単位数	2	7C 1/ C	必修
区 分	圣诞行口	12 3 17 1	日未原仏拠。	HH	時間数	30	必修	紀刊
担当教員			藤田琴		受講学科	音	楽療法士学	科
	音楽療法士	の資格を有	し、以下の通り実務紹	経験がある	学 年		1年	
2 4 323 231 32124	放課後等デ	イサービス	での音楽療法 2年		0			
としての経歴			療法 1年 人音楽療法 2年					
実務経験と 授 業	音楽療法士	の実務経験	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		指す学生に	必要な音楽	療法の基礎	的な知識
学期区分	前期		木曜日 4時限		講義室等		201教室	
	後期				授業形式		講義	
授業目標およ	び概要			成績評価の	方法			
			ぶとともに、実践活用で のできる音楽療法士		筆記試験、	授業態度、抗	是出課題	
ロサのサムナ					教科書			
授業の進め方	1				音楽療法の	基礎		
テキストを通し					参考書			
ワークや発表	の場を通して	「実践の技術		標準音楽療	法入門(上)	(下)		
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計画				
	く前 オリエンテー	が 学 期〉 -ション			<u> </u>	〈後 学 期	>	
第1回	パーソナル	・ソング鑑賞		第1回				
第2回	音楽療法と 音楽療法の	定義		第2回				
第3回	音楽療法と 音楽療法士		里	第3回				
第4回	音楽療法と 多職種連携		楽療法士の役割	第4回				
第5回	音楽療法の	歴史①		第5回				
第6回	音楽療法の	歴史②		第6回				
第7回	音楽療法の	歴史③		第7回				
第8回	音楽の生理	的作用		第8回				
第9回	音楽の心理	的作用		第9回				
第10回	音楽の社会	的作用		第10回				
第11回	アセスメント	,		第11回				
第12回	目標設定と	介入計画		第12回				
第13回	模擬セッショ	り		第13回				
第14回	模擬セッショ	ョン②		第14回				
第15回	まとめ			第15回				

授業科目区 分	基礎科目	き礎科目 担当科目 音楽療法の諸理論 単位数 2 選択 必・ (旧:理論と技法 I) 時間数 30 必修							
+D \V #b 문			* 四種		受講学科	音楽	療法士学	———— 科	
担当教員			藤田琴		学 年		2年		
実務家教員としての経歴	放課後等デ		し、以下の通り実務経 での音楽療法 2年 療法 1年	験がある	0				
CO C 07 11 11 11									
実務経験と 授 業			を活かし、将来音楽療 ての感性を養 う 。	景法士を目	指す学生に	必要な基礎的	な知識、理	黒論と技	
学期区分	前期				講義室等	(301教室		
	後期		月曜日 2時限		授業形式		講義		
授業目標および	人概要			成績評価の	万法				
児童、成人、高齢者の領域における音楽療法の理論を学び、テキストやワークを通して臨床現場で行われている方法を体験する。実際の臨床現場において、音楽を対象者に合わせて選択し、使いこなす技術を身につける。 ###################################									
15半5半4十				教科書					
授業の進め方						知る一その理	論と技法-	_	
臨床現場で使れ を深める。	われる音楽 <i>0</i>	り技法を紹介	し、体験的に学びなか	バら理解	参考書				
で泳める。									
履修上の注意 事項									
			授 業 の	計画					
	〈前	〕学期〉			Ī	〈後 学 期〉			
第1回				第1回	音楽療法と	は			
第2回				第2回	音楽の三要				
第3回				第3回	集団音楽療3つのアプロ				
第4回				第4回	歌唱活動の	意義			
第5回				第5回	ワーク				
第6回				第6回	楽器活動の	意義			
第7回				第7回	ワーク①				
第8回				第8回	ワーク②				
第9回				第9回	創作活動の	意義			
第10回				第10回	ワーク				
第11回				第11回	感覚と運動				
第12回				第12回	ワーク				
第13回				第13回	鑑賞活動の	意義			
第14回				第14回	ワーク				
第15回				第15回	発表、まとぬ	b			

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	音楽療法の研		単位数	2	選択	必修
区 分	圣诞17日	153170	(旧:理論と技法	Π)	時間数	30	必修	انگ ھا ت
担当教員		1	「橋和奈枝		受講学科	音	楽療法士学	科
	立 浪 康 壮 上			ほかよう フ	学 年		3年	
実務家教員としての経歴	大学病院(料 精神科単科 児童発達支	精神神経科 病院での音 援センター	し、以下の通り実務経 、神経内科、消化器内 楽療法 5年 での音楽療法 11年、 ごス、自主グループ(発	科·外科、 音楽療法 ⁻	失語症外来 センターでの	個人音楽療	法 2年	长療法等
実務経験と 授 業			きを活かし、将来音楽療					
学期区分	前期		水曜日 3時限		講義室等		304教室	
	後期				授業形式		講義	
授業目標および	が概要				成績評価の	方法		
学問と音楽療法究の基礎を学ぶ		的研究や質	が研究、哲学的研究や	や歴史研	試験および	レポート		
 授業の進め方					软件音			
講義、論文輪訪		参考書						
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
		」学期〉			<u> </u>	〈後 学 期	<u> </u>	
第1回	オリエンテー	ーション		第1回				
第2回	研究とは何	か		第2回				
第3回	文献検索の	方法		第3回				
第4回	統計学の基	礎		第4回				
第5回	量的研究			第5回				
第6回	質的研究			第6回				
第7回	様々な音楽	療法と研究		第7回				
第8回	ノードフ・ロヒ	ごンズ音楽療	寮法	第8回				
第9回	分析的音楽	療法		第9回				
第10回	GIM			第10回				
第11回	行動論的音	楽療法		第11回				
第12回	神経学的音	楽療法		第12回				
第13回	ケーススター	ディのまとめ	方	第13回				
第14回	ケーススター	ディのまとめ	 方	第14回				
第15回	まとめ			第15回				

授 業 科 目					単位数	2	選択			
区分	基礎科目	担当科目	音楽療法各論	Ι	時間数	30	必修	必修		
担当教員			藤田琴		受講学科	音導	髤療法士学	科		
J_ 475 R	立地中			E仝 ナミナ フ	学 年		1年			
実務家教員			し、以下の通り実務経 での音楽療法 2年	いかめる	0					
としての経歴		設での音楽								
 実務経験と			引人音楽療法 2年きを活かし、将来音楽療	表法士を目	指す学生に	必要な、対象	き者に合わせ	せた曲目、		
授 業		を計画・実践 I	できる力を養う。		-# * -		001 松 宗			
学期区分	前期 後期		火曜日 2時限		講義室等授業形式		201教室 講義			
授業目標および					成績評価の	 方法	117 128			
障がい児の運動 発達への理解	動、ADL、認識 を深め、音楽	知、言語、社 終療法におけ	:会性について障がい(る障がい児の遊びや:	の特徴や コミュニ	試験および	レポート				
			について学ぶ。	•						
授業の進め方					教科書	田子し なしな	立			
1又未い近の万						界をよみとくる 教育の発達		まえて―		
教材を読む、ビ	デオを観る、	、実践するこ	とを通して、自分なりに	考え、グ	参考書					
ループ討論を通	通して障害児	について埋	解を深める。							
 履修上の注意										
事項										
	/前	が 対学期〉	授業の	計画		〈後 学 期〉	<u> </u>			
——————— 第1回	オリエンテー			第1回			/			
第2回	障がい児の			第2回						
第3回	障がい児の			第3回						
	始まりの歌									
第4回				第4回						
第5回	始まりの歌			第5回						
第6回	終わりの歌			第6回						
第7回	終わりの歌			第7回						
第8回	模倣遊び			第8回						
第9回	模倣遊び			第9回						
第10回	集団遊び			第10回						
第11回	目的に応じ	た歌遊び		第11回						
第12回	目的に応じ	た歌遊び		第12回						
第13回	対象者に合	わせる活動		第13回						
第14回	まとめ			第14回						
第15回	発表			第15回						

授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	音楽療法各論	п	単位数時間数	2 30 選択 必修				
担当教員		亩	橋和奈枝		受講学科	音楽療法士学科				
担当教具					学 年	2年				
実務家教員	大学病院(料	精神神経科、	し、以下の通り実務経 神経内科、消化器内 楽療法 5年)での音楽療法 5年				
としての経歴				音楽療法·	センターでの個人音楽療法 2年					
						3失調症)、その他の音楽療法等				
			を活かし、将来音楽療 きる力を養う。	をはませる	指9字生に	必要な精神科における基礎知識お				
学期区分	前期		木曜日 1時限		講義室等	301教室				
	後期				授業形式	講義				
授業目標および	N 概 安				成績評価の	万法				
メンタルヘルス。	と音楽療法に	こついて学る	*		試験および	レポート				
15 N/ - N/ - 1					教科書					
授業の進め方						ンタルヘルスガイドブック				
テキストを用い ⁻ のワークショップ			gめる。精神科領域のった獲得する。	セッション	参考書					
	/と通じて杯	◎天日 汀⊂]又 /△	とほりか		精神科領域	における音楽療法ハンドブック				
履修上の注意 事項										
			授業の	計画						
## . F		」学期〉 、、		<i>**</i> * . □	Ī	〈後 学 期〉				
	オリエンテー	ーンヨン		第1回						
	うつ病			第2回						
第3回	うつ病の音	楽療法		第3回						
	症例検討			第4回						
	統合失調症			第5回						
第6回	統合失調症	の音楽療法		第6回						
第7回	症例検討			第7回						
第8回	不安障害			第8回						
第9回	不安障害の	音楽療法		第9回						
第10回	症例検討			第10回						
第11回	摂食障害			第11回						
第12回	摂食障害の)音楽療法		第12回						
第13回	症例検討			第13回						
第14回	依存症			第14回						

授業科目	基礎科目	担当科目	音楽療法各論	ш	単位数時間数	2	選択	必修	
					受講学科			———— 科	
担当教員		樋	[口瑠理子		学 年		3年		
中黎南北昌			し、以下の通り実務経 音楽療法 2年	験がある	0				
実務家教員としての経歴			の音楽療法 6年						
 実務経験と 授 業			えない。 対象では、 できる力を養う。	法士を目	指す学生に	必要な高齢	者領域にお	ける基礎知	
	前期	ス派ムとス	木曜日 3時限		講義室等		304教室		
学期区分	後期				授業形式		講義		
授業目標および	び概要			成績評価の	方法				
高齢者の心身の れの目的・方法 緩和ケア患者、 法の方法、目的	を学ぶ。 家族の心理			出席および	試験				
					教科書				
授業の進め方					最新研究に	よる高齢者	音楽療法		
講義とワーク					参考書				
11792									
履修上の注意 事項									
			授 業 の	計画					
		学期〉				〈後 学 期)		
第1回	高齢者につ			第1回					
第2回	高齢者につ	いて②		第2回					
第3回	認知症と音	楽療法①		第3回					
第4回	認知症と音	楽療法②		第4回					
第5回	認知症と音	楽療法③		第5回					
第6回	ホスピス・緩	それケア①		第6回					
第7回	ホスピス・緩	それケア②		第7回					
第8回	ホスピス・緩	髪和ケア③		第8回					
第9回	スピリチュア	アルケア①		第9回					
第10回	スピリチュア	アルケア②		第10回					
第11回	グリーフケブ	71		第11回					
第12回	グリーフケフ	72		第12回					
第13回	死生観につ	いて①		第13回					
第14回	死生観につ	いて②		第14回					
第15回	死生観につ	いて③ まと	∴ め	第15回					

授業科	丨目	基礎科目	担当科目	技能 I		単位数	1	医扒	必修	
区	分	圣诞行口	153170	1286 1		時間数	45 必修			
担当教	員	超口瑠理子 受講学科 音楽療法士学							科	
		立论床汁土			F-ムエミナ フ	学 年		1年		
実務家教	女員			し、以下の通り実務経 音楽療法 2年	いめる	0				
		特別養護老	大ホームで	の音楽療法 6年						
実務経馬	金レ	辛 必療法士	-の宝忞経験	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東注十を日	およう	心亜か草齢		ける其礎知	
授	業			践できる力を養う。	китер	1167710	- 20・女・6 1月 181	1日 原列100	17.0至此从	
学期区	分	前期		火曜日 4時限		講義室等		201教室		
		後期				授業形式		実技		
授業のね	らい	、目標				成績評価の)万法			
						1- 11 05 -	-m n			
楽器演奏	(特)	こ音楽療法で	で使用される	打楽器等)の技術を高	iめる	授業態度、	課題発表			
						*L 1.1 -1.				
授業概要						教科書				
1,7,17,17										
講義また	は油	習				参考書				
H-12072	.W/J									
	1 :1	<u> </u>								
意事項										
				授業の	計画					
		〈自	前 学 期〉			1	〈後 学 其	月 〉		
第1回]	オリエンテ-	ーション		第1回					
第2回]	様々な楽器	(音楽療法	で使用する打楽器)①	第2回					
第3回]	様々な楽器	(音楽療法	で使用する打楽器)②	第3回					
第4回]	様々な楽器	(音楽療法)	で使用する打楽器)③	第4回					
第5回]	楽器を用い	たグループ	活動①	第5回					
第6回]	楽器を用い	たグループ	活動②	第6回					
第7回]	楽器を用い	たグループ	活動③	第7回					
第8回]	グループ発	表		第8回					
第9叵]	既成曲の活	5用①		第9回					
第10回	<u> </u>	既成曲の活	5用②		第10回					
第11回	<u> </u>	グループ発	表		第11回					
第12回	<u> </u>	オリジナル	曲の作成①		第12回					
第13回	<u> </u>	オリジナル	曲の作成②		第13回					
第14回	<u> </u>	個人発表			第14回					
第15回	1	まとめ			第15回					

授業科目	Ⅰ基礎科目	担当科目	技能Ⅱ		単位数	1	選択	必修
区 分			(旧∶技能Ⅰ)		時間数	45	必修	エィ
担当教員		樋	口瑠理子		受講学科 学 年	Ē	楽療法士学 1年	<u>^</u>
	音楽療法士	の資格を有	し、以下の通り実務経	験がある			'	
実務家教員としての経歴			音楽療法 2年 の音楽療法 6年					
実務経験と 授 業			き活かし、将来音楽療 践できる力を養う。	法士を目	指す学生に	必要な高齢	者領域にお	ける基礎知
学期区分	前期				講義室等		201教室	
	後期		火曜日 4時限		授業形式		実技	
授業のねらい	、目標				成績評価の	方法		
÷ * + + - *	· > = +-	点 化 医毛压			授業態度、	課題発表		
音楽漿法の臨 	床に必要な	身体運動に	関する技能を高める					
					教科書			
授業概要					-			
講義または演	翌				参考書			
m 46/216/8								
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計画				
	〈 育	前学期〉			Ī	〈後 学 斯	>	
第1回				第1回	オリエンテー	ーション		
第2回				第2回	ダンス①			
第3回				第3回	ダンス②			
第4回				第4回	ダンス③			
第5回				第5回	グループ発	表		
第6回				第6回	動作模倣①)		
第7回				第7回	動作模倣②)		
第8回				第8回	動作模倣③)		
第9回				第9回	グループ発	表		
第10回								
 				第10回	介護予防の	ための身体	運動①	
第11回				第10回 第11回	介護予防の 介護予防の			
第11回 第12回				ļ		ための身体	運動②	動①
				第11回	介護予防の	ための身体 -ションのた。	運動②	-
第12回				第11回	介護予防のリハビリテー	ための身体 -ションのた。 -ションのた。	運動②	-

授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	技能Ⅲ (旧:技能Ⅱ)		単位数時間数	1 45	選択必修	必修	
<u>ь</u> л			(IA : [A 18 - 7		受講学科		坐療法士学	科	
担当教員		髙	「橋和奈枝		学年		2年		
実務家教員としての経歴	大学病院(料 精神科単科 児童発達支	精神神経科. 病院での音 援センター	し、以下の通り実務経 、神経内科、消化器内 楽療法 5年 での音楽療法 11年、 ごス、自主グループ(発	科·外科、 音楽療法·	失語症外来 センターでの	個人音楽療	法 2年	聚療法等	
実務経験と 授 業			を活かし、将来音楽療						
学期区分	前期		木曜日 3時限		講義室等		301教室		
	後期				授業形式		実技		
授業目標および	が概要				成績評価の)方法			
音楽療法士に娘	必要な創作 <i>0</i>	D技術を学え	, `			態度、課題~	への取り組み	› 姿勢	
授業の進め方					教科書				
きまざまな創作に実際に取り組みながら、スキルを身につける 参考書 音楽療法のための即興演奏ハント							演奏ハンド	ブック	
履修上の注意 事項									
			授 業 の	計画					
		」学期〉			<u> </u>	〈後 学 期	>		
第1回	オリエンテー	−ション 		第1回					
第2回	言葉を用い	た創作		第2回					
第3回	詩と創作			第3回					
第4回	Song Writing	g ①		第4回					
第5回	Song Writing	g2		第5回					
第6回	絵本を用い	た創作①		第6回					
第7回	絵本を用い	た創作②		第7回					
第8回	グループ発	表		第8回					
第9回	リズムを用し	ハた創作		第9回					
第10回	アフリカのリ	Jズム		第10回					
第11回	ラテンのリス	ベム		第11回					
第12回	言葉とリズム	4		第12回					
第13回	ポリリズム			第13回					
第14回	音のキャッテ	チボール		第14回					
第15回	まとめ			第15回					

授業科目	Ⅰ基礎科目	担当科目	技能Ⅳ (旧:技能Ⅱ)		単位数	1	選択	必修
区 分			(12.12.13.17.1	能Ⅱ) 時間数 45 必修 受講学科 音楽療法士学科				科
担当教員		髙	「橋和奈枝		学年	н	2年	1-1
実務家教員としての経歴	大学病院(郑 精神科単科 児童発達支	精神神経科. 病院での音 援センター	し、以下の通り実務経、神経内科、消化器内 楽療法 5年 での音楽療法 11年、 ごス、自主グループ(発	科·外科、 音楽療法 ⁻	失語症外来 センターでの	個人音楽療	法 2年	长療法等
実務経験と 授 業			を活かし、将来音楽療					
学期区分	前期				講義室等		301教室	
	後期		木曜日 1時限		授業形式		実技	
授業目標および	ゾ概要				成績評価の	方法		
音楽療法士に	必要な即興の	D技術を学ぶ	, i		出席、授業	態度、課題~	への取り組み	姿勢
授業の進め方					教科書			
さまざまな即興	に実際に取	り組みながら	ら、スキルを身につける	,	参考書 音楽療法の	ための即興	演奏ハンド	ブック
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
	〈前 T	」学 期〉			I .	〈後 学 期	1>	
第1回				第1回	オリエンテー	-ション 		
第2回				第2回	メロディを用	いた即興		
第3回				第3回	ドリア旋法			
第4回				第4回	フリギア旋え	去		
第5回				第5回	リディア旋え	t		
第6回				第6回	ミクソリディ	ア旋法		
第7回				第7回	エオリア旋え	去		
第8回				第8回	田舎節音階	Í		
第9回				第9回	都節音階			
第10回				第10回	琉球音階			
第11回				第11回	アラビア音降	皆		
第12回				第12回	アンサンブル	ル即興		
第13回				第13回	トーンチャイ	'ムを用いて		
第14回				第14回	さまざまな楽	楽器を用いて	<u>. </u>	
第15回				第15回	まとめ			

授業科目	Ⅰ基礎科目	担当科目	,	技能V		単位数	1	選択	必修
区分	}		((旧:技能皿))	時間数	45	必修	
担当教員		髙橋和	□奈枝•藤F	田琴		受講学科 学 年	音	楽療法士学 3年	:科
	-					子平		3#	
実務家教員としての経歴									
こしての作品	·								
実務経験と 授 業		この実務経験 楽療法士とし	を活かし、 こての感性	. 将来音楽療 を養う。	法士を目	指す学生に	必要な基礎	的な知識、	倫理と技
学期区分	前期					講義室等		304教室	
	後期		金曜日	3時限		授業形式		実技	
授業目標およ	び概要					成績評価の)万法		
音楽療法に必	必要な歌唱と	聴取の技能を	を学ぶ			課題、授業	態度		
1-11/2 - V/						教科書			
授業の進めた	Ī .					1			
講義∙演習						参考書			
游戏 									
履修上の注 意事項									
				授業の	計画				
	〈前	前 学 期〉					〈後 学 期]>	
第1回					第1回	オリエンテ-	ーション		
第2回					第2回	セッションに	おける歌唱	1	
第3回					第3回	セッションに	おける歌唱	2	
第4回					第4回	セッションに	おける歌唱	3	
第5回					第5回	オートハー	プの技術①		
第6回					第6回	オートハー	プの技術②		
第7回					第7回	ギター伴奏	による歌唱(1)	
第8回					第8回	ギター伴奏	による歌唱の	2	
第9回					第9回	音楽とリラグ	フセーション		
第10回					第10回	RMT体験			
第11回					第11回	GIM体験①			
第12回					第12回	GIM体験②			
第13回					第13回	GIM体験③			
第14回					第14回	マンダラと	イメージ		
第15回					第15回	まとめ			

授 業 科 目	基礎科目	担当科目			単位数	2	選択	必修
区 分	在於竹口	15-314-11	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		時間数	90	必修	وا ک
担当教員		髙	橋和奈枝		受講学科		楽療法士学 	
	音楽療法十	の資格を有	し、以下の通り実務経	·験がある	学 年	1	年・2年・3年	
実務家教員	大学病院(#	青神神経科、	神経内科、消化器内			での音楽療	法 5年	
としての経歴			·楽療法 5年 での音楽療法 11年、 [·]	音楽療法·	ヤンターでの	個人音楽療	法 2年	
	高齢者施設	、デイサーt	ごス、自主グループ(発	達障害、	失語症、統合	・失調症)、そ	の他の音楽	
実務経験と 授 業	音楽療法士 的基礎力を		きを活かし、将来音楽療	養法士を目	指す学生に	必要な障害リ	見への音楽組	療法の実践
学期区分	前期		水曜日 1·2時限		講義室等		校外施設	
	後期	木	曜日 3・4時限(隔週)		授業形式		実習	
授業目標および	が概要				成績評価の	方法		
発達障害の児童	童に対する音	f楽療法の 実	₹習		出席、実習	記録		
					教科書			
授業の進め方					-			
r.ttt- 77					参考書			
臨床実習								
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
	〈前	学期〉			1	〈後 学 期	>	
第1回	オリエンテー	ーション		第1回	オリエンテー	ーション		
第2回	各クラスにお	おける音楽療	§法担当 ————————————————————————————————————	第2回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第3回	各クラスにも	おける音楽療	聚法担当 ————————————————————————————————————	第3回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第4回	各クラスにな	おける音楽療	聚法担当	第4回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第5回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第5回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第6回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第6回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第7回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第7回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第8回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第8回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第9回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第9回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第10回	各クラスにも	おける音楽療	聚法担当	第10回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第11回	各クラスにも	おける音楽療	寮法担当	第11回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第12回	各クラスにお	おける音楽療	聚法担当	第12回	コンサート			
第13回	各クラスにも	おける音楽療	·····································	第13回	コンサート			
第14回	各クラスにお	おける音楽療	· · · · · · · · · · · · · ·	第14回	各クラスにお	おける音楽療	法担当	
第15回	各クラスにも	ーー おける音楽療	 聚法担当	第15回	各クラスにお	おける音楽療	—— 法担当	

+ <u>***</u> +** ;					22/ / 1 20/			
授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	里署 II [実習]	ш)	単位数 時間数	90	選択 必修	必修
				•	受講学科	***	 桨療法士学 ^{>}	 钭
担当教員		近	藤真知子		学年		2•3年	
ウ 双白北口			音楽1種、高等学校	音楽1種の	資格を有し、	以下の通り実	ミ務経験がむ	5る。
実務家教員 としての経歴			·楽療法 9年 団音楽療法 3年					
中郊好私		基礎指導歷		関受付・事務		シ亜れポーノ	ンファナノーナンノナ・	7 女 汝 唐 计
実務経験と 授業		の美務経験 。礎力を養う。	を活かし、将来音第	受けるエクト				0百笨獠法
学期区分	前期		水曜日 1・2時限		講義室等		校外施設	
授業目標およる	後期 び概要				授業形式 成績評価の		実習	
	目標、プログ	ブラム作成、	リ、施設職員との連評価を学び、集団音 生を学ぶ。		出席、実習教科書	記録、実習へ	∙の参加姿勢	ļ
授業の進め方								
個別指導、グル	参考書							
履修上の注 意事項								
	/÷	前 学 期〉	授 業	の計画		〈後 学 期)	<u> </u>	
第1回	オリエンテ-			第1回	オリエンテー		/	
				क्राध	カノエン)	/ 1/		
第2回		7 	= 少	<u></u>	中羽・プログ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 少	
l i		ブラム作成・原				ブラム作成・反		
第3回	実習・プログ	ブラム作成・原	豆省	第2回	実習・プログ	ブラム作成・反	支省	
第3回	実習・プログ		豆省		実習・プログ		支省	
	実習・プロク	ブラム作成・原	豆省 豆省	第3回	実習・プロク	ブラム作成・反	ī省 ī省	
第4回	実習・プログ	ブラム作成・原ブラム作成・原	豆省 豆省 豆省	第3回	実習・プログ	ずラム作成・反 ずラム作成・反	ā省 ā省 ā省	
第4回 第5回	実習・プログ実習・プログ実習・プログ	ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪	支省支省支省支省	第3回 第4回 第5回	実習・プログ実習・プログ実習・プログ	ずラム作成・反 ずラム作成・反 ずラム作成・反	克省 克省 克省	
第4回 第5回 第6回	実習・プログ実習・プログ実習・プログ実習・プログ	ブラム作成・∫ ブラム作成・∫ ブラム作成・∫ ブラム作成・∫	豆省 豆省 豆省 豆省	第3回 第4回 第5回	実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ	ずラム作成・反 ずラム作成・反 ずラム作成・反 ずラム作成・反	支省支省支省支省支省	
第4回 第5回 第6回 第7回	実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ	ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪	豆省 豆省 豆省 豆省 豆省	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ	^ず ラム作成・反 ^ず ラム作成・反 ^ず ラム作成・反 ^ず ラム作成・反	运省 运省 运省 运省	
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	実習・プログ実習・プログ実習・プログ実習・プログ実習・プログ	ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪ ブラム作成・♪	豆省 豆省 豆省 豆省 豆省	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ	「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反	五省 五省 五省 五省 五省 五省 五省 五省	
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	実習・プログ実習・プログ実習・プログラックのクラックのクラックのクラックのクラックのクラックのクラックのクラックの	ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5	豆省 豆省 豆省 豆省 豆省 豆省	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ 実習・プログ	「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反 「ラム作成・反	2省 2省 2省 2省 2013 2013 2013 2013	
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	実習・プログラスを実習・プログラスを実習・プログラスを表習・プログラスを表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5	豆省 豆省 豆省 豆省 豆省 豆省 豆省	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	実習・プログラクラップログラクラップログラクラップログラクラップログラクラップログラクラップログラクラップログラップログラップログラップログラップログラップログラップを表示している。	デラム作成・反 デラム作成・反 デラム作成・反 デラム作成・反 デラム作成・反 デラム作成・反	2省 2省 2省 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2	
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	実習・プログラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラ	ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5	支省 支額 支額 <td>第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回</td> <td>実習・プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ</td> <td>プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反</td> <td>2 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省</td> <td></td>	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	実習・プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反 プラム作成・反	2 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省	
第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	実習・プログラクターのクラップログラクターのクラップ・プログラクターのクラップ・プログラップ・プログラップ・プログラック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファック・ファ	ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5 ブラム作成・5	豆省 豆	第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回 第12回	実習・プログラクラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラー	ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反 ブラム作成・反	运 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省	

		中羽巾		単位数	2	` ‡5\$ ′	
区	基礎科目 担当科	·目 実習Ⅲ (旧:実習Ⅳ	7)	時間数	90	選択 必修	必修
担当教員				受講学科	音	楽療法士学	科
	7 W C 1 1 0 W 10		75 1×1 7	学 年		3年	
実務家教員と		を有し、以下の通り実務約 での音楽療法 2年	诠 験かある	0			
しての経歴	特別養護老人ホーム	ムでの音楽療法 6年					
実務経験と 授 業		経験を活かし、将来音楽 ブラム作成、実践力を養う		指す学生に	必要な高齢	者施設での	集団で行う
学期区分	前期	金曜日 1・2時限		講義室等		校外施設	
	後期			授業形式		実習	
授業目標およ	ひ做安			成績評価の	力法		
グループホー ム作成、実践		こ合わせた目標の立て方	、プログラ	出席、実習言	7録、実習へ	の参加姿勢	丸
				教科書			
授業の進め方	,			-			
チームで計画	、実践、反省、評価を	進め、それぞれの知識と	技術を高	参考書			
めあえるような							
履修上の注意	:						
事項	K.						
	/ 44 - 34 - 440	授 業 の	計画		//// <u>224</u> HD		
~ 10	《前学期	<u> </u>	#1F	実習・プログ	(後 学 期 (元 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	•	
第1回	オリエンテーション	B — J.	第1回				
第2回	実習・プログラム作り	或▪反省 —————————	第2回	実習・プログ	ラム作成・反	又省	
第3回	実習・プログラム作り	或▪反省 ————————————————————————————————————	第3回	実習・プログ	ラム作成・原	支省	
第4回	実習・プログラム作り	戓•反省	第4回	実習・プログ	ラム作成・反	支省	
第5回	実習・プログラム作り	戓∙反省	第5回	実習・プログ	ラム作成・反	支省	
第6回	実習・プログラム作り		第6回	実習・プログ	ラム作成・反	支省	
第7回	実習・プログラム作り	或∙反省	第7回	実習・プログ	ラム作成・反	支省	
第8回	実習・プログラム作り	或・ 反省	第8回	実習・プログ	ラム作成・反		
第9回	実習・プログラム作り	或∙反省	第9回	実習・プログ	ラム作成・反	支省	
第10回	実習・プログラム作り		第10回	実習・プログ	ラム作成・反		
第11回	実習・プログラム作り	或∙反省	第11回	実習・プログ	ラム作成・反	2省	
第12回	実習・プログラム作り		第12回	実習・プログ	ラム作成・反	5省	
第13回	実習・プログラム作り	或∙反省	第13回	実習・プログ	ラム作成・反	5省	
第14回	実習・プログラム作り		第14回	実習・プログ	ラム作成・反	5省	
第15回	実習・プログラム作り		第15回	実習・プログ	ラム作成・反		

授 業 科 目			コミュニケーション	支能 Ⅰ・Ⅲ	単位数	2	選択	21.45
区分	基礎科目	担当科目	(旧:演習		時間数	60	必修	必修
担当教員		髙橋和奈	₹枝∙近藤真知子		受講学科	音	楽療法士学	科
					学 年		2年・3年	
実務家教員								
としての経歴								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期		火曜日 4時限		講義室等	301	教室•304教	室
	後期		WIEL WIN		授業形式 実習 実習 成績評価の方法			
授業目標およ	ひ陇安)万法		
th 111 0 4 4 0	ウェ の 進 世	т — о П =	* #		出席および	授業態度		
美省のための	演奏の準備	、栄器の用意	意、グループワーク					
授業の進め方					教科書			
授耒の進め方					_			
各回の実習の	反省や計画	を诵じて理角	星度を深める。		参考書			
	×1 · 11 ·	2,20 (127)						
履修上の注 ・								
意事項								
				の計画				
	〈前	前学期》	授業(か計画		〈後 学 期	>	
第1回	〈前 オリエンテ-		授業(第1回	オリエンテー		>	
第1回	オリエンテー		#1 112				>	
	オリエンテー言語コミュニ	ーション	D	第1回	自己発見、	ーション	>	
第2回	オリエンテー言語コミュニ言語コミュニ	ーション ニケーション(1)	第1回	自己発見、自己発見、	ーション自己分析①	>	
第2回	オリエンテー言語コミュニ言語コミュニ言語コミュニ	ーション ニケーション(ニケーション(1) 2) 3)	第1回 第2回 第3回	自己発見、自己発見、	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③	>	
第2回 第3回 第4回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ	-ション -ケーション(-ケーション(-ケーション(1) 2) 3) ~(1)	第1回 第2回 第3回 第4回	自己発見、自己発見、自己発見、	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法①	>	
第2回 第3回 第4回 第5回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ	-ション -ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	自己発見、自己発見、自己発見、	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法②	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ	-ション -ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(-ケーション(- ケーション(- ケーション(1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	自己発見、自己発見、自己発見、グループ技	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法②	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ 非言語コミニ	ーション 「ケーション(「ケーション(「ケーション(「 「ケーション(「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	自己発見、 自己発見、 自己発見、 グループ技 グループ技	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ 非言語コミニ	ーション ニケーション(ニケーション(ニケーション(コニケーション コニケーション コニケーション の技法(1)	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	自己発見、 自己発見、 自己発見、 グループ技 グループ技 グループ技	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③ の説明①	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ セルフケア(セルフケア)	ーション ニケーション(ニケーション(ニケーション(ニケーション(エニケーション(エニケーション(エニケーション(エニケーション(エニケーション(エニケーション(エニケーションの技法(T))の技法(T))の技法(T))の技法(T)	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	自己発見、 自己発見、 自己発見、 グループ技 グループ技 グループ技 ー般の人へ	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③ ・の説明① ・の説明②	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミュニ 非言語コミニ セルフケア(セルフケア)	ーション ニケーション(ニケーション(ニケーション(ニケーション ユニケーション ユニケーション の技法() の技法() の技法()	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	自己発見、自己発見、自己発見、グループ技グループ技グループ大力をの人へ一般の人へ	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③ ・の説明① ・の説明② ・の説明③ 習①	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	オリエンテー 言語コミュニ 言語コミュニ 非言語コミニ 非言語コミニ セルフケア(セルフケア)	ーション ニケーション(ニケーション(ニケーション(ニケーション ユニケーション ユニケーション の技法(1) の技法(2) の技法(3) 習(1)	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第9回 第10回 第11回	自己発見、 自己発見、 自己発見、 グループ グループ がルーの 人へ 一般のの グルーグ かんへ かん がいっかっか。	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③ の説明① の説明② の説明③ 習①	>	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	オリエンテー 言語コミュニ 言語 コミュニ 非言語 コミュニ 非	ーション ニケーション(ニケーション(ニケーション(ニケーション(コニケーション コニケーション の技法(1) の技法(2) の技法(3) 習(1) 習(2) 習(3)	1) 2) 3) ~(1) ~(2)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回 第11回	自己発見、自己発見、ググルーののののプッププリックルークがルークのののプッププリックルークがルークがルークがルークがルークがルークを受ける。	ーション 自己分析① 自己分析② 自己分析③ 法① 法② 法③ ・の説明① ・の説明② ・の説明③ 習① 習② 習③	>	

ᄪᄴᄭᄆ	1		I			224 / L WL			
授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目		卒業論文		単位数 時間数	60	選択 必修	必修
			-15			受講学科		 楽療法士学	 科
担当教員			「橋和奈枝			学 年		3年	
		の資格を有)での音楽療	注 5年	
実務家教員 としての経歴	精神科単科	病院での音	楽療法 5	年					
							個人音楽療法 (大調症)、そ		坚 療法等
実務経験と 授 業							必要な論文化		
学期区分	前期		木曜日	2時限		講義室等		304教室	
	後期		月曜日	2時限		授業形式		講義	
授業目標および	が概要					成績評価の	方法		
3年間の音楽療観、臨床におけ 文を作成する。 表を行い、卒業	る哲学や思 臨床研究と	想、そして理 調査研究など	ᡛ論∙技術を	統合的にま	とめた論	卒業研究へ 卒業論文発 卒業論文	の取り組み 表会における	るプレゼンテ	ーション
X2110 (+ x	.m/x or	190 y 100 s				教科書			
授業の進め方									
前期:クラス授	*					参考書			
後期:個別指導									
履修上の注意 事項									
	<u> </u>			授業の	計画				
	〈前	」学 期〉					〈後 学 期	>	
第1回	卒業論文に	ついて			第1回	中間発表準	備		
第2回	テーマ設定				第2回	中間発表準	備		
第3回	アウトライン	/設定			第3回	中間発表準	備		
第4回	アウトライン	' 設定			第4回	中間発表準	備		
第5回	アウトライン	/設定			第5回	中間発表			
第6回	先行研究収	集			第6回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第7回	先行研究収	集			第7回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第8回	先行研究収	·····································			第8回	プレゼンテー	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第9回	先行研究収	·····································			第9回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第10回	先行研究収	·····································			第10回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第11回	先行研究収	 {集			第11回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第12回	プレゼンテ-	ーション作成			第12回	プレゼンテ-	ーション作成、	、論文執筆、	推敲
第13回	プレゼンテ-	ーション作成			第13回	卒業論文発	表準備		
第14回	プレゼンテ-	ーション作成			第14回	卒業論文発	表リハーサル	レ	
第15回	プレゼンテ-	ーション作成			第15回	卒業論文発	表		

授業科目	基礎科目	担当科目	医学概論		単位数	2	選択	必修
区 分	圣诞行口	153170	<u> </u>		時間数	30	必修	光川多
担当教員		E	田中文子		受講学科	音	楽療法士学	科
	去 ## 6 %				学 年		1年	
実務家教員 としての経歴	病院勤務	6年	以下の実務経験がある 	0				
CO C 47 NT/IE		上施設勤務						
		₹務経験を活 ☆士としての原	かし、将来音楽療法士 蒸性を養う。	を目指す	学生に必要	な基礎的な	知識、倫理と	ニ技術、ま
学期区分	前期		金曜日 3時限		講義室等		201教室	
	後期				授業形式		講義	
授業目標およ	び概要				成績評価の)方法		
医療・福祉の現の糸口を示す現代医療に関い、音楽療法はある。	。医学・医療 わる諸問題	の歴史からと多岐にわる	生命論、 と材料	レポート提出	レポート提出・テスト			
					教科書			
授業の進め方	<u> </u>				ぜんぶわか	る人体解剖	図	
講義					参考書			
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計画				
	〈育	前 学 期〉			I	〈後 学 期	>	
第1回	医学概論の	目指すもの		第1回				
第2回	医学•医療(の歴史①		第2回				
第3回	医学•医療(の歴史②		第3回				
第4回	看護の歴史	21		第4回				
第5回	看護の歴史	22		第5回				
第6回	生命哲学①)		第6回				
第7回	生命哲学②)		第7回				
第8回	リハビリテー	ーションの歴	史①	第8回				
第9回	リハビリテー	ーションの歴	史②	第9回				
第10回	医学検査の)歴史		第10回				
第11回	医学と医療	の間		第11回				
第12回	生物はどの	ように死ぬが	jv₁1)	第12回				
第13回	生物はどの	ように死ぬか	b\2	第13回				
第14回	現代医療に	かかわる諸	問題①	第14回				
第15回	現代医療に	かかわる諸	問題②	第15回				

授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	臨床医学各論	ìΙ	単位数 2 時間数 30 必修			
担当教員			田中文子		受講学科	音楽療法	去士学	科
但当教員				•	学 年	2:	年	
実務家教員	看護師の貨 病院勤務		以下の実務経験がある	ა.				
 実務経験と		<u>-施設勤務</u> ■務経験を活	18年 かし、将来音楽療法:	上を目指す	学生に必要	な基礎的な知識、	倫理と	:技術、ま
授業	た音楽療法	士としての原	蒸性を養う。		-# * • • •	001	*	
学期区分	前期 後期				講義室等授業形式		教室 :義	
授業目標およ			亚程口 04470		成績評価の		120	
めには、医師	や看護師、そ	の他スタッ	章害を持った方に働き フとの連携が欠かせな の幅広い知識を習得 ⁻	い。音楽	レポート提出 教科書	出・テスト		
授業の進め方	ī				やさしい医学	学•生理学		
					参考書			
個人の課題と	して内容発表	表 その後補	i足講義、演習 		7 7 1			
見抜しのさ	ı							
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計画				
	〈月 【	竹学期〉		₩ 4□	*	〈後学期〉		
第1回				第1回	老年者の生	理的特徴		
第2回								
第3回				第2回		要な症状とおこり	やすい	問題
I -				第3回	老年者の主		やすい	問題
第4回						の特徴	やすい	問題
第4回				第3回	老年者疾患	の特徴神経系疾患	やすい	問題
				第3回	老年者疾患認知症 脳	の特徴 神経系疾患 疾患	やすい	問題
第5回				第3回 第4回 第5回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患	やすい	問題
第5回				第3回 第4回 第5回 第6回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患	やすい	問題
第5回 第6回 第7回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の 消化器系の	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患 必疾患	やすい	問題
第5回 第6回 第7回 第8回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の 消化器系の 代謝・内分泌	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患 必疾患	やすい	問題
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の 消化器系の 代謝・内分泌 血管・膠原病	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患 疾患	やすい	問題
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の 消化器系の 代謝・内分泌 血管・膠原系 腎泌尿器系	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患 疾患	やすい	問題
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回	老年者疾患 認知症 脳 循環器系の 呼吸器系の 消化器・内分 血管・膠原系 腎泌尿器系 運動器・視・	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 必疾患 み疾患 が病 疾患 り疾患 りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを りを	やすい	問題
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回				第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回	老年者疾患認知症 脳循環器系の呼化 謝・内分泌 血管・膠原系 運動器・視・ 感染症	の特徴 神経系疾患 疾患 疾患 疾患 病疾患 病疾患 調 が適 が適 が適	やすい	問題

古 华 艺 口					単位数			
授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	臨床医学各論	Ī	時間数	30	選択 必修	必修
			_		受講学科		療法士学	———— 科
担当教員		E	田中文子		学 年		3年	
			以下の実務経験がある	5.				
実務家教員としての経歴	病院勤務 看護師養成		 員 3年					
	高齢者福祉	施設勤務	18年					
実務経験と 授業		経務経験を活 士としての原	かし、将来音楽療法: 惑性を養う。	上を目指す	学生に必要	な基礎的な知	識、倫理と	:技術、ま
学期区分	前期				講義室等	;	304教室	
	後期		金曜日 4時限		授業形式		講義	
授業目標およ	ひ概要				成績評価の)力法		
乳幼児から高齢者まで幅広い心身の障害を持った方に働きかけるためには、医師や看護師、その他スタッフとの連携が欠かせない。音楽の領域だけでなく医学、心理学、福祉の幅広い知識を習得する。								
157 W C 74 T T					教科書			
授業の進め方				_0 &1 \	やさしい医学	学知識		
			各個人ごとに(グルー 行い課題発表の時間?		参考書			
いく								
履修上の注 意事項					<u> </u>			
, , ,			 授 業 の	計画				
	〈育	立 学 期〉				〈後 学 期〉		
第1回				第1回	授業の進め	方GW ・国民衛生の	動向	
第2回				第2回		(呼吸器•循環		器等)
第3回				第3回		(呼吸器•循環	器∙消化器	器等)
第4回				第4回		_ (呼吸器·循環	農器∙消化 器	器等)
第5回				第5回	グループご	と 発表		
第6回				第6回	グループご	と 発表		
第7回				第7回	グループ学			
第8回				第8回	グループ学			
第9回				第9回	解剖生理学 グループ学	望(脳•脊髄神経 13	・運動器)	
第10回				第10回	グループご	と 発表		
第11回				第11回	グループご			
第12回				第12回	グループ学			
第13回				第13回	グループ学			
第14回				第14回	解剖生理学グループ学	□(皮膚・内分泌 習	∦•腎•泌尿	.器)
第15回				第15回	グループご	と 発表		

授業科目	基礎科目	担当科目 臨床心理学 I 単位数 2 選択 場					必修	
区 分	1.2111				時間数	30	必修	
担当教員		j	芹澤文子		受講学科	音	楽療法士学 	·科 ————
	臨床発達心	1理十の資格	子 子を有し、以下の実務紹 なななない。	を騒がある	学年		2年	
実務家教員としての経歴	障がい者総	合支援セン	ター/自治体の市町村 校 心の教室 相談員	での発達		目談•巡回相	談支援等	24年
実務経験と 授 業			系経験を活かし、将来音 としての感性を養う。	新楽療法士	を目指す学	生に必要な	基礎的な知	識、倫理と
学期区分	前期		月曜日 4時限		講義室等		301教室	
	後期				授業形式		講義	
授業のねらい	、目標				成績評価の	方法		
音楽療法士に得る。	☑必要な心理	!学の基礎的	理論・療法への理解と	:知識を	授業態度お 数科書	よび筆記試	験	
						と心理支援	を基礎から <u>'</u> 	学ぶ
講義·授業内	小テスト				参考書			
					みるよむ生	涯臨床心理	学	
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計画				
		前 学 期〉			T.	〈後 学 期	>	
第1回	臨床心理学	± I について		第1回				
第2回	精神分析的	アプローチ	(1)	第2回				
第3回	精神分析的	アプローチ	(2)	第3回				
第4回	行動主義的	アプローチ	(1)	第4回				
第5回	行動主義的	アプローチ	(2)	第5回				
第6回	人間性主義	的アプロー	チ(1)	第6回				
第7回	人間性主義	的アプロー	チ(2)	第7回				
第8回	認知主義的	アプローチ	(1)	第8回				
第9回	認知主義的	アプローチ	(2)	第9回				
第10回	その他のア	プローチ(1))	第10回				
第11回	その他のア	プローチ(2))	第11回				
第12回	アセスメント	- I		第12回				
第13回	心理検査 I			第13回				
第14回	心理的支援	ŧΙ		第14回				
第15回	まとめ			第15回				

授業科目	基礎科目	担当科目	担当科目 臨床心理学 II 単位数 2 選択 必修					必修
区分					時間数 受講学科	30 辛		Æ:l
担当教員		j	≑澤文子		学 年		*原丛工于 2年	17
			を有し、以下の実務紹) _o			
2 4 323 23 . 32 . 2 .			ター/自治体の市町村 :校 心の教室 相談員		相談・育児相]談・巡回相	談支援等 2	4年
				-				
			経験を活かし、将来音 としての感性を養う。	f楽療法士 		生に必要な		識、倫理と
学期区分	前期				講義室等		301教室	
授業目標およ	後期の		月曜日 3時限		授業形式 成績評価の	古 注	講義	
対人支援にお	ける臨床心 方、スキル?	理学の療法を臨床心理等	を実践的に学ぶ力をつ ≠の考え方をもとに知り	oける。対 J、具体			筆記試験	
 授業の進め方	.						£ ±± =±+ , ~ .	N. 20
					-	と心理支援を	を基礎から	ア ぶ
講義と体験的	学習を通して	て学びあう。			参考書			
					みるよむ生涯臨床心理学			
履修上の注 意事項								
			授業の	計画				
	〈月	前学期》		## 4 F	ᄩᄼᄭᅖᆇ	〈後学期	>	
第1回				第1回	臨床心理学			
第2回				第2回	コラージュ訪	说明		
第3回				第3回	コラージュ			
第4回				第4回	事例から学	ぶ(1)		
第5回				第5回	事例から学	ぶ(2)		
第6回				第6回	事例から学	ぶ(3)		
第7回				第7回	支援者・セラ	ラピストの態度	支	
第8回				第8回	傾聴•体験((1)		
第9回				第9回	傾聴•体験(2)		
第10回				第10回	アセスメント	の流れ		
第11回				第11回	アセスメント	П		
第12回				第12回	心理検査Ⅱ	(1)		
第13回				第13回	心理検査Ⅱ	(2)		
第14回				第14回	心理的支援	Ⅱ(1)		
第15回				第15回	心理的支援	II (2)		

	ı							
授 業 科 目 区 分	基礎科目	担当科目	社会福祉概認	論	単位数 時間数	30	選択 必修	必修
<u>Σ</u> π					受講学科		 €療法士学	 科
担当教員		Ē	西條一彦		学年	17	2年	··
			し、幼児から成人に至					
実務家教員としての経歴			療報酬・介護報酬の請 して総務人事を統括す				を持つ(15年	E) 。
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		C 140 337 1 7 C 4307 1			3 = 30 20 10 20		. , ,
実務経験と 授 業	上記を活か	し、音楽療法	法士および保育士を目	指す学生				
学期区分	前期		1 and an and an		講義室等		301教室	
授業目標およ	後期の		水曜日 3時限		授業形式 成績評価の	士法	講義	
憲法25条の生尊重され、人		な生活を保	視点とし、全ての人が 障するための社会保 験および保育士国家詞	障と社会	出席、授業	態度、試験を	通じて総合	的に評価
の知識を習得	する。				教科書			
授業の進め方	ī					テキスト2024	<u></u> 上	
					参考書			
講義と過去問	の開設を併	行して進める	0.					
履修上の注 意事項								
	•		授 業 の	計画				
	〈 育	前学期》			イントロダク	〈後 学 期〉		
第1回				第1回		おける社会福	証心の意義	と歴史①
第2回				第2回	現代社会に	おける社会福	証心の意義	と歴史②
第3回				第3回	こども家庭す	支援と社会福	祉	
第4回				第4回	社会福祉の	制度と実施体	作系1	
第5回				第5回	社会福祉の	制度と実施体	太系②	
第6回				第6回	社会福祉の	制度と実施体	体系③	
第7回				第7回	社会福祉の	制度と実施体	本系④	
第8回				第8回	社会福祉の	サービス実施	極体制①	
第9回				第9回	社会福祉の	サービス実施	西体制②	
第10回				第10回	社会福祉に	おける相談援	題	
第11回				第11回	利用者保護	にかかわる仕	上組み	
第12回				第12回	社会福祉の	動向と課題		
第13回				第13回	社会福祉過	去問①		
第14回				第14回	社会福祉過	:去問②		
第15回				第15回	社会福祉過	去問3		

授業科目					単位数	2	選択	
区分	基礎科目	担当科目	発達心理学		時間数	30	必修	必修
担当教員		-			受講学科	音	楽療法士学	·科
担ヨ教貝			•		学 年		1年	
実務家教員			らを有し、以下の実務紹 ター/自治体の市町村			日談・巛同相	談支援等 (24年
			学校 心の教室 相談員		יום אינוייייייייייייייייייייייייייייייייייי		以人及守 4	
実務経験と	吃庄&法心	畑十の宝教	発験を活かし、将来音	[- 太日七才学	かたに必要な	甘砵幼ナン年	- 会理し
			としての感性を養う。	未炼压」	- で 日 相 9 子	-エに必安は	を使り みれ	郎、冊垤こ
学期区分	前期		月曜日 3時限		講義室等		301教室	
授業目標およ	後期				授業形式	\ :+	講義	
技未日保のよ	ひ悩安				成績評価の	刀法		
人の発達を生 児期の道筋と つづけていくか	ポイントをつ	かむ。人がな						
1- 11 - 11 I					教科書			
授業の進め方	<u> </u>				よくわかるタ	発達心理学		
講義(一方的	な講義で終れ	oらないよう!	に双方向のやりとりや、	、たんぽ	参考書			
ぽシートをつた	いう。)							
履修上の注 意事項								
			授 業 の	計 画				
	〈 育	前 学 期〉			ı	〈後 学 期)	
第1回	「発達」を学	ぶ現代的意	義を考える	第1回				
第2回	胎児期			第2回				
第3回	胎児期から	乳児期		第3回				
第4回	乳児期			第4回				
第5回	乳児期			第5回				
第6回	愛着形成			第6回				
第7回	認知の発達			第7回				
第8回	幼児期			第8回				
第9回	幼児期			第9回				
第10回	幼児期			第10回				
第11回	児童期			第11回				
第12回	青年期			第12回				
第13回	成人期			第13回				
第14回	老年期			第14回				
第15回	発達を支援	する		第15回				

授業科目	基礎科目	担当科目	特別支援教育	<u> </u>	単位数	2	X=21/\	必修	
区 分	圣诞行口	153140	1寸/川又1友4次月	3	時間数	30	必修	北市	
担当教員			藤田琴		受講学科	音	楽療法士学	:科	
	立	0.海北土土		FA パナフ	学 年		1年		
実務家教員			し、以下の通り実務経 での音楽療法 2年	缺かめる	0				
としての経歴	生活介護施	設での音楽	療法 1年						
中変奴除し	知的発達障	1 害児への個]人音楽療法 2年						
実務経験と 授 業	実務経験を	·活かし、将っ	ド音楽療法士を目指す	学生に必	要な、障がし	ハ児領域に関	関する基礎知	口識を養う。	
学期区分	前期		火曜日 1時限		講義室等		201教室		
	後期				授業形式		講義		
授業目標およ	び概要				成績評価の)方法			
て学ぶ。また『	り巻く教育環境の変遷と、現在の特別支援教育につい 章がい種についての理解を深め、臨床場面で出会う児 性についての知識を獲得する。								
授業の進め方					教科書				
文未い進の方	1				障害児の音	「楽療法			
講義のみなら	ず動画かどえ	を目かがら班	一般を深める		参考書				
時我のから	7 刧凹なこ	2000000	ENT & 1X 47 0 0						
履修上の注									
では、									
			授業の	計画					
		前 学 期〉			<u> </u>	〈後 学 斯	>		
第1回	オリエンテー	ーション		第1回					
第2回	特別支援教	育の理念と	制度	第2回					
第3回	特別支援教	育の理念と	制度	第3回					
第4回	知的障がい	1		第4回					
第5回	知的障がい	1		第5回					
第6回	自閉症			第6回					
第7回	自閉症			第7回					
第8回	ダウン症			第8回					
第9回	ダウン症			第9回					
第10回	聴覚障がい	児		第10回					
第11回	視覚障がい	·児		第11回					
第12回	肢体不自由	1児		第12回					
第13回	病弱児			第13回					
第14回	重度重複障	がい児		第14回					
第15回	まとめ			第15回					

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	音楽教育		単位数	2	選択	必修
区 分	圣诞刊日	担当符日	日未刊月		時間数	30	必修	<u>ال</u> اكاد
担当教員		<u>:</u> F	藤真知子		受講学科	音	楽療法士学	科
担当教員					学 年		2年	
+ ** + ** =			音楽1種、高等学校音	楽1種の	資格を有し、	以下の通り	実務経験が	ある。
~ ~			「楽療法 9年 - 団音楽療法 3年					
		基礎指導歷		受付•事務	· 20年			
	ピアノ、音楽 を養う。	Ķ基礎指導 <i>σ</i>)実務経験を活かし、将	野来音楽	療法士を目指	旨す学生に必	要な音楽の	基礎知識
学期区分	前期				講義室等		301教室	
	後期		金曜日 4時限		授業形式		講義	
授業目標およ	び概要				成績評価の	方法		
音楽教育の歴	を中日本の)音楽教育の	知識を身につける。		授業態度・	定期試験		
哲学の准を士	-				教科書			
授業の進め方	1							
講義及び課題					参考書			
開我及び味起	光衣							
	Ι							
履修上の 注意事項								
			授業の	計画				
	〈育	前学期》			1	〈後 学 期	>	
第1回	授業概要			第1回				
第2回	音楽教育の)歴史		第2回				
第3回	音楽教育の)歴史		第3回				
第4回	音楽教育の)歴史		第4回				
第5回	音楽教育の)歴史		第5回				
第6回	学校におけ	る音楽教育		第6回				
第7回	学校におけ	る音楽教育		第7回				
第8回	学校におけ	る音楽教育		第8回				
第9回		る音楽教育		第9回				
第10回	音楽教育の			第10回				
第11回	音楽教育の			第11回				
第12回	音楽教育の			第12回				
第13回	学校教育以 音楽教育の	l外の音楽教)メソッド	(育、	第13回				
第14回	まとめ・発表	₹		第14回				
第15回	まとめ・発表	₹		第15回				

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	英語 I		単位数	2	~	選択
区分	圣诞行口	153170	大 品:		時間数	30	必修	选扒
担当教員			竹田修		受講学科	音	楽療法士学	科
					学 年		1年	
実務家教員								
としての経歴								
 実務経験と								
授業								
学期区分	前期				講義室等		201教室	
授業目標およ	後期 び概要		月曜日 2時限		授業形式 成績評価の	方法	講義	
汉米日					7501SE1 1M 05	7372		
 英語の発音・羽	も祖・聞き取り	」理解等. 総	合的に学ぶ。		出席および	試験		
海外研修に向			- 1 · 3 · 6					
					教科書			
授業の進め方					English Prim	ner		
*********	1. 1824 11 0	ا ۸ حاددان			参考書			
教科書にとられ	つれず字生の	状況に合わ	せて授業する。					
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
	/ *	7 学 期/				/ 後 帯 #		
	\ H!	」学期〉				〈後 学 斯	1>	
第1回	\ FI	」于 朔/		第1回	be動詞	\孩 子 _郑	1)	
第1回 第2回	\	1 子 籾/		第1回	be動詞 一般動詞		1)	
	\ 81	1 子 籾/		第2回		現在	1)	
第2回	\	1 子 籾/		第2回	一般動詞	現在	i)	
第2回	\ 81	1 子 初 /		第2回	一般動詞	現在	1)	
第2回 第3回 第4回	\	1 子 初7		第2回 第3回 第4回	一般動詞 3	現在	1)	
第2回 第3回 第4回 第5回	\	1 子 初 /		第2回 第3回 第4回 第5回	一般動詞 3 一般動詞 3 未来形 進行形	現在	1)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	\ B!	1 子 初 /		第2回 第3回 第4回 第5回	一般動詞 : 一般動詞 : 未来形 進行形 助動詞	現在	1)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	\	1 千 栁/		第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	一般動詞 : 一般動詞 ; 未来形 進行形 助動詞 名詞·冠詞	現在		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	\ B!	1 千 初 /		第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	一般動詞 一般動詞 未来形 進行形 助動詞 名詞·冠詞 代名詞	現在 過去		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	一般動詞 一般動詞 未来形 進行形 助動詞 名詞·冠詞 代名詞 前置詞	現在 過去		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	\ B!			第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	一般動詞 一般動詞 未来形 進行形 助動詞 名詞·冠詞 代名詞詞 前置詞 形容詞·副詞	現在過去		
第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回 第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 10 回 第 11 回	\ F!			第2回 第3回 第4回 第5回 第7回 第8回 第10回 第11回 第12回	一般動詞 一般動詞 未来形 助 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和詞 和	現在過去		
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	\ B!			第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回 第13回	一般動詞 一般動詞 未 進 動 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	現在過去		

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	英語Ⅱ		単位数	2	X= 1/ \	選択
区 分	27.114	2-111	77111		時間数	30	必修	
担当教員			竹田修		受講学科	音	楽療法士学	科
					学 年		2年	
実務家教員								
としての経歴								
 実務経験と								
授業								
学期区分	前期		月曜日 2時限		講義室等		301教室 講義	
授業目標および	後期 後期 形概要				授業形式 成績評価の	方法	神我	
	1,702				774774711111111111111111111111111111111			
英語の発音・表	現・聞き取り	理解等、総	合的に学ぶ。		出席、授業	態度		
海外研修に向い								
					教科書			
授業の進め方					English Prin	ner		
					参考書			
教科書にとられ	れず学生の	状況に合わ	せて授業する。		7 7 1			
	Г							
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
		学期〉			<u> </u>	〈後 学 期	>	
第1回	復習			第1回				
第2回	不定詞·動名	名詞 I		第2回				
第3回	不定詞•動名	名詞Ⅱ		第3回				
第4回	受動態 I			第4回				
第5回	受動態Ⅱ			第5回				
第6回	完了形							
第7回				第6回				
	基本文型			第6回				
第8回	基本文型 疑問文 I							
				第7回				
第8回	疑問文 I			第7回				
第8回	疑問文 I 疑問文 I			第7回 第8回 第9回				
第8回 第9回 第10回	疑問文 I 疑問文 II ITの用法			第7回 第8回 第9回 第10回				
第8回 第9回 第10回 第11回	疑問文I 疑問文I ITの用法 分詞			第7回 第8回 第9回 第10回 第11回				
第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	疑問文 I 疑問文 I ITの用法 分詞 関係代名詞			第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回				

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	┃ 英語Ⅲ		単位数	2	X=- 1/ \	選択
区分	圣诞17日	15 3 17 5	· 英品皿		時間数	30	必修	选扒
担当教員		宜	5. 语和奈枝		受講学科	音	楽療法士学	科
12.3 秋貝		IP.	可信化未仅		学 年		3年	
中双中北昌								
実務家教員 としての経歴								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期		月曜日 3時限		講義室等		304教室	
	後期				授業形式		講義	
授業目標およ	び概要			成績評価の)方法			
英語の4技能で 学ぶ。洋書を-		g、Listening、	、Speaking、Writingを総	合的に	出席、授業	態度		
与来の光は土					教科書			
授業の進め方				The Phanto	m of the Op	era		
洋書を読む。				参考書				
毎回小テスト、	リスニングを	行う。						
 履修上の注意 事項	単語ノート((A5サイズ) を	を1冊準備する。					
, ,			授 業 の	計画				
	〈前	丁学 期〉				〈後 学 期]>	
第1回	オリエンテー	ーション		第1回				
第2回	Chapter 1			第2回				
第3回	Chapter 2			第3回				
第4回	Chapter 3			第4回				
第5回	Chapter 4			第5回				
第6回	Chapter 5			第6回				
第7回	Chapter 6			第7回				
第8回	Chapter 7			第8回				
第9回	Chapter 8			第9回				
第10回	Chapter 9			第10回				
第11回	Chapter 10			第11回				
第12回	Chapter 11			第12回				
第13回	Chapter 12			第13回				
第14回	Chapter 13			第14回				
第15回	Chapter 14			第15回				

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	キャリアデザイ	٠,	単位数	2	選択	選択
区 分	圣诞 们日	担当符日	4777791		時間数	30	必修	进扒
担当教員		棉	[口瑠理子		受講学科	音	楽療法士学	科
				FA 181. =	学 年		3年	
実務家教員			し、以下の通り実務経 音楽療法 2年	験がある	0			
i i			の音楽療法 6年					
実務経験と								
授 業								
学期区分	前期		火曜日 1時限		講義室等		304教室	
	後期				授業形式		講義	
授業目標および	人概 要				成績評価の	万法		
一人ひとりが目 をする。 就職活動のサ ⁷			デザイン	出席および	授業態度			
			教科書					
授業の進め方								
					参考書			
講義、個別対応	2				2.78			
履修上の注意 事項								
			授 業 の	計画				
	I	丁学期〉			Ι	〈後 学 期	<u> </u> }	
第1回	オリエンテ-	ーション		第1回				
第2回	スケジュー	ル組み立て		第2回				
第3回	個別指導			第3回				
第4回	個別指導			第4回				
第5回	個別指導			第5回				
第6回	個別指導			第6回				
第7回	個別指導			第7回				
第8回	個別指導			第8回				
第9回	個別指導			第9回				
第10回	個別指導			第10回				
第11回	個別指導			第11回				
第12回	個別指導			第12回				
第13回	個別指導			第13回				
第14回	個別指導			第14回				
第15回	個別指導			第15回				

授業科目	基礎科目	担当科目	体育		単位数	2	選択必修	選択	
区 分					時間数	30		. T.J	
担当教員		Д	I﨑絵美子		受講学科 学 年	首	楽療法士学 1.5	科	
					子平		1年		
実務家教員 としての経歴									
実務経験と 授 業									
学期区分	前期		水曜日 2時限		講義室等		校外施設		
	後期				授業形式		実技		
授業目標および		I ₩ 7₩ / ↓ ↓ <i>→</i>	- <i>4H</i> ++ -+- フ し し 土 ュー _ 小丰 -	₩ 44 * 🖶	成績評価の	方法			
感を得る。運動 能力を高められ 近年では社会な る。本授業では	を通して、自 いるようにする が利便化する 運動不足解	目己アピール る。 るにつれ、人 ≧消の一環と	を維持するとともに、精さい表現力、コミュニケータの運動不足が懸念さるよう球技を中心とし	ーション されてい	出席状況と	授業態度に	より評価する	5.	
ポーツを通し学 授業の進め方	生の連動省	'慎を継続さ	せる。		教科書				
					特になし				
1. 10時55分に 服不可)	は直接体育	館に集合し、	体操着に着替えておく	くこと(私	参考書				
2. 上履きを持ち	参すること				特になし				
履修上の注意 事項									
			授 業 の	計 画					
	〈前 オリエンテ-	」学期〉			Γ	〈後 学 期]>		
第1回	ドッヂボール			第1回					
第2回	卓球①			第2回					
第3回	卓球②			第3回					
第4回	卓球③			第4回					
第5回	バドミントン	1		第5回					
第6回	バドミントン	2		第6回					
第7回	バドミントン	3		第7回					
第8回	ソフトバレー	-1)		第8回					
第9回	ソフトバレー	-2		第9回					
第10回	ソフトバレー	-3		第10回					
第11回	バスケットホ	ボール①		第11回					
第12回	バスケットオ	ボール②		第12回					
第13回	バスケットオ	ボール③		第13回					
第14回	ドッヂボール	L(1)		第14回					
第15回	ドッヂボーノ	ν ②		第15回					

授 業 科 目	基礎科目	担当科目	ライティング		単位数	2	選択	選択
区 分	圣诞行日	担当符日	247429		時間数	30	必修	选扒
担当教員		枓	[口瑠理子		受講学科	音	楽療法士学	科
				FA 181. =	学 年		3年	
実務家教員			し、以下の通り実務経 音楽療法 2年	験がある	0			
			の音楽療法 6年					
中郊奴私								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期				講義室等		304教室	
	後期		月曜日 4時限		授業形式		講義	
授業目標および	人概要				成績評価の	万法		
音楽療法士試験	踰わ就職計 !	爺での小論 ^っ	文対策を行う。		出席および	提出課題		
	37 (370-134 <u>0</u> -4-4	or con a min	(X) X (1) Y (
15半の光は土					教科書			
授業の進め方								
理題立た理解	ちっこわせ	ケテーフにも	}って文章を作成。		参考書			
休恩人で生所し	スサルりれい	_ / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	りて大学を下級。					
屋板 Lの注音								
履修上の注意 事項								
	/ **	」 学期〉	授業の	計画		〈後 学 期	1\	
笠1回	\ fl.	子 州/		第1回	小謺女①	(佐子舟	17	
第1回					小論文①			
第2回				第2回	小論文①			
第3回				第3回	討論			
第4回				第4回	討論			
第5回				第5回	小論文②			
第6回				第6回	小論文②			
第7回				第7回	討論			
第8回				第8回	討論			
第9回				第9回	小論文③			
第10回				第10回	小論文③			
第11回				第11回	討論			
第12回				第12回	討論			
第13回				第13回	個別指導			
第14回				第14回	個別指導			

授 業 科	目	基礎科目	担当科目	PC演習		単位数	2	X=21/ \	選択	
区	分	圣诞行口	15 314 1	1 0/英日		時間数	30	必修	医扒	
担当教員				藤田琴		受講学科	音	楽療法士学	科	
11111				11.4 PM -7		学 年		1年		
宇教宗教員	3									
実務家教員 としての経過										
実務経験と 授 業										
学期区分	,	前期				講義室等		301教室		
		後期		木曜日 2時限		授業形式		講義		
授業目標お	よて	が概要				成績評価の)方法			
卒業論文に 使いこなせる			xcel、Power	pointの使用法を学び、	出席と授業	態度				
授業の進め	方					1X111 E				
122100200										
課題を設定し	ı - √	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	いい形式で	※ 本た行う		参考書				
赤庭で以たり		レビン)、	ノコンルムし	元仪を刊り。						
履修上の注 事項	意	ノートバソコ	ン使用							
				授 業 の	計画					
		〈前	「学期〉				〈後 学 期	>		
第1回					第1回	オリエンテー	ーション			
第2回					第2回	Wordで文書	を作成しよ	ō		
第3回					第3回	Wordで文書	を作成しよ	5		
第4回					第4回	Wordで文書	を作成しよ	5		
第5回					第5回	Wordで文書	を作成しよ	う・発表		
第6回					第6回	Powerpoint [®]	でプレゼンラ	ーション作り	戉	
第7回					第7回	Powerpoint [®]	でプレゼンラ	ーション作り	戉	
第8回					第8回	Powerpoint [®]	でプレゼンラ	ーション作り	戉	
第9回					第9回	Powerpoint	でプレゼンテ	ーション作り	朮∙発表	
第10回					第10回	Excelで表や	ウグラフを作ん	3		
第11回					第11回	Excelで表や	^ら グラフを作	3		
第12回					第12回	Excelで関数	女を使う			
第13回					第13回	Excelで関数	女を使う			
第14回					第14回	Musescore ⁻	で楽譜を作る	5		
第15回					第15回	Musescore	で楽譜を作る	5		

授業科目	基礎科目	担当科目	音楽療法士筆記試 Ⅰ・Ⅱ	——— 験対策	単位数	4	選択必修	選択
区 分			1.11		時間数	60		
担当教員		髙	橋和奈枝		受講学科	音	楽療法士学	:科
					学 年		3年	
実務家教員								
としての経歴								
古なり下ムし								
実務経験と 授 業								
学期区分	前期		月曜日 1時限		講義室等		304教室	
拉来口油水	後期				授業形式		講義	
授業目標および	入 概安				成績評価の	力法		
日本音楽療法をの理解と定着を		桨療法士補 詞	試験の問題演習を中心	がに知識	出席および	試験		
授業の進め方					教科書			
授未の進め万								
	×+				参考書			
問題演習と解記	兄を中心にす	すめる。						
	T							
履修上の注意 事項	復習のため	のノートを作	■成する。					
			授 業 の	計画				
	〈前	〕学期〉			1	〈後 学 期]>	
第1回	2001年度抜	談粋問題演習	1	第1回	2009年度抜	粋問題演習	7	
第2回	2001年度抜	种問題演習	1	第2回	2010年度抜	粋問題演習]	
第3回	2002年度抜	萨 料問題演習	1	第3回	2011年度抜	粋問題演習] 	
第4回	2002年度抜	談粋問題演習	1	第4回	2012年度抜	粋問題演習] 	
第5回	2003年度抜	談粋問題演習		第5回	2013年度抜	粋問題演習	7	
第6回	2003年度抜	談粋問題演習		第6回	2014年度抜	粋問題演習	7	
第7回	2004年度抜	談粋問題演習	1	第7回	2015年度抜	粋問題演習	7	
第8回	2004年度抜	談粋問題演習		第8回	2016年度抜	粋問題演習	7	
第9回	2005年度抜	談 粋問題演習	1	第9回	2017年度抜	粋問題演習	7	
第10回	2005年度抜	技料問題演習	1	第10回	2018年度抜	粋問題演習	1	
第11回	2006年度抜	來問題演習	1	第11回	2019年度抜	粋問題演習	1	
第12回	2006年度抜	來問題演習	1	第12回	2020年度抜	粋問題演習	1	
第13回	2007年度抜	來問題演習	1	第13回	2021年度抜	粋問題演習	1	
第14回	2007年度抜	談粋問題演習	1	第14回	2022年度抜	粋問題演習	1	
第15回	2008年度抜	粋問題演習		第15回	2023年度抜	粋問題演習	1	

授 業 科 目	++ ++ + + =	10 1/11 0			単位数	2	選択	755 T.D.	
区分	基礎科目	担当科目	応接・マナー		時間数	30	必修	選択	
担当教員		i	近藤真知子		受講学科	音	楽療法士学	科	
四二秋兵					学 年		3年		
実務家教員			音楽1種、高等学校音 「楽療法 9年	楽1種の資	格を有し、以	下の通り実	務経験があ	る。	
としての経歴	障害者支援	施設での集	団音楽療法 3年						
中変奴除し	ピアノ・音楽	基礎指導歷	图 20年 医療機関受	付•事務原	楚 20年				
実務経験と 授 業	医療機関で	の実務経験	を活かして社会人として	て必要な知	□識・技能を養	う。			
学期区分	前期		火曜日 2時限		講義室等		304教室		
	後期				授業形式		講義		
授業目標および	入				成績評価の	力法			
					授業態度、筆	车=⊃=+ E 余			
一般常識や応持	接・マナーな	ど、社会人に	こ必要な知識を高める。		汉木态及、	₽ 0004 例次			
					 教科書				
授業の進め方					ビジネスマナ	の解剖図	3鑑		
					参考書				
講義、演習) · i · i				
	1								
履修上の注意 事項									
			授業の	計画					
	〈自	前 学 期〉				〈後 学 期	>		
第1回	オリエンテー	ーション、社会	会人のマナーについて	第1回					
第2回	ビジネスマ	ナー ①		第2回					
第3回	ビジネスマ	ナー②		第3回					
第4回	ビジネスマ	ナー③		第4回					
第5回	ビジネスマ	ナー④		第5回					
第6回	ビジネスマ	ナー⑤		第6回					
第7回	ビジネスマ	ナ ー ⑥		第7回					
第8回	ビジネスマ	ナー⑦		第8回					
第9回	ビジネスマ	ナー⑧		第9回					
第10回	ビジネスマ	+- 9		第10回					
第11回	ビジネスマ	ナー10		第11回					
第12回	その他(履歴	歴書・就活マ	ナー等)	第12回					
第13回	その他(履歴	歴書・就活マ	ナー等)	第13回					
第14回	その他(履歴	歴書・就活マ	ナー等)	第14回					
第15回	その他(履歴	歴書∙就活マ	ナー等)、まとめ	第15回					

授 業	科 目	並磁制日	────────────────────────────────────			単位数	2	×== 1/ \	選択	
区	分	圣诞 竹日	123171			時間数	30	必修	迭扒	
担当	数昌			藤田琴		受講学科	音	楽療法士学	·科	
15-21	7 0 P.			17% PA		学 年		2年		
実務家	多数昌									
としての										
中级织	모든수 ㄴ									
実務紀 授	業									
学期	区分	前期		月曜日 1時限		講義室等		301教室		
		後期				授業形式 講義				
授業目標	標および	が概要				成績評価の	方法			
保育士記	試験の細	総合対策を行	行う 。			出席及び授	業態度、試	験		
						10. 41. 4				
授業の遺	進め方					教科書 保育士完全	ム物ニャコ			
12.4.07.1	E0773					保育士元主		F (T)(F)		
演習と働	保護をは	□心に進める	.			参考書				
/X 6 C//	HD0 C-1	TO TO LEGISTRO	,							
履修上(の注音									
事]										
				授 業 の	計画					
		〈前	〕学期〉			1	〈後 学 期	1>		
第1	回	保育の心理	学		第1回					
第2	20	保育の心理	学		第2回					
第3	30	保育の心理	学		第3回					
第4	10	教育原理			第4回					
第5	5 <u>0</u>	教育原理			第5回					
第6	回	教育原理			第6回					
第7	'回	子どもの保	健		第7回					
第8	30	子どもの保	健		第8回					
第9	0	子どもの保	健		第9回					
第10	0回	子どもの食	と栄養		第10回					
第11	10	子どもの食	と栄養		第11回					
第12	2回	子どもの食	と栄養		第12回					
第13	3回	保育実習理	論		第13回					
第14	4回	保育実習理	論		第14回					
第15	5回	保育実習理	L 論		第15回					

授業	科 目	基礎科目	担当科目	担当科目 保育士模試			2	~	選択		
区	分	圣诞行日	153170		時間数	30 必修 医扒					
担当	当教員			藤田琴		受講学科 音楽療法士学科					
,					学 年 2年						
宝教	宏数昌										
実務家教員 としての経歴											
— 76	7 AT EA I										
美務 授	経験と 業										
⇔ ±	朝区分	前期			講義室等		301教室				
于为	初丘刀	後期		月曜日 1時限		授業形式		講義			
授業目	目標および	ゾ概要				成績評価の)方法				
 保育岀	上試験の:	総合対策を行	〒う 。			出席及び授	業態度				
1						教科書					
授業の	の進め方					保育士完全 保育士過去	合格テキス 問題集	ト(上)(下)			
海土 目	引を中心に	- 准 払 る				参考書					
地女匠	ባራ ተ ነሪካ	こにはる									
	1044	1									
	上の注意 事項										
				授 業 の	計画						
		〈前 T	」学期〉			1	〈後 学 期	>			
第	[1回				第1回	保育の心理	学				
第	[2回				第2回	保育の心理	学				
第	[3回				第3回	保育原理					
第	[4回				第4回	保育原理					
第	5回				第5回	子どもの保	健				
第	6回				第6回	子どもの保	健				
第	97回				第7回	子どもの食と栄養					
第	[8回				第8回	子どもの食と栄養					
第	9回				第9回	教育原理/	社会的養護				
第	10回				第10回	教育原理/	社会的養護				
第	11回				第11回	子ども家庭	福祉				
第	12回				第12回	子ども家庭	福祉				
第	13回				第13回	社会福祉					
第	14回				第14回	社会福祉					
第	15回				第15回	保育実習理	論				

授 業 科 目	┃	旦当科目	介護概論		単位数	2	~= "/	選択		
区 分	Z-W217 L	171	71 DZ 1996 HIIII	時間数	持間数 30 必修					
担当教員		樋	口瑠理子	受講学科	音	楽療法士学	科			
				学 年		2年・3年				
実務家教員										
としての経歴										
 実務経験と										
授業										
学期区分	前期	<u> </u>	金曜日 3時限/4時限	講義室等		301教室				
授業目標および	後期				授業形式 成績評価の		講義			
汉本日禄6560	J'IM &				7久小良日	77374				
介護職員初任 [:] どの習得。	・技術な	授業態度、実習記録、修了評価(筆記試験)								
哲学の光ムナ					教科書					
授業の進め方					介護職員初任者研修テキスト (一般社団法人長寿社会開発センター)					
講義、演習、実	22				参考書					
. 一种技、灰白、大	: 目									
履修上の注意	I									
腹修工の注息 事項										
			授業の	計画						
		学期〉			ı	〈後 学 期	}			
第1回	職務の理解、	介護の基	本 ————————————————————————————————————	第1回						
第2回	介護における	尊厳の保	持•自立支援	第2回						
第3回	介護・福祉サ-	ービスの理	理解と医療との連携 しゅうしゅう	第3回						
第4回	介護における	コミュニケ	ーション技術	第4回						
第5回	老化の理解、	認知症の	理解、障害の理解	第5回						
第6回	こころとからだ	このしくみと	:生活支援技術①	第6回						
第7回	こころとからだ	きのしくみと	第7回							
第8回										
	こころとからだ	きのしくみと	生活支援技術③	第8回						
第9回			生活支援技術③生活支援技術④	第8回						
第9回	こころとからだ	きのしくみと								
	こころとからだ	こうしくみと このしくみと	生活支援技術④	第9回						
第10回	こころとからだ	このしくみと このしくみと このしくみと	生活支援技術⑤	第9回						
第10回	こころとからだこころとからだ	さのしくみと さのしくみと さのしくみと き技術演習	生活支援技術⑤ 生活支援技術⑥	第9回 第10回 第11回						
第10回 第11回 第12回	こころとからだこころとからだ 総合生活支援	でのしくみと でのしくみと でのしくみと 受技術演習	生活支援技術⑤生活支援技術⑥	第9回 第10回 第11回 第12回						

授 業 科 目	基礎科目 担当科日 教育原理					単位数	2	21/4	選択			
区分			32		時間数	30 20118						
担当教員			藤田琴			受講学科 音楽療法士学科 学 年 2年						
						子牛		2年				
実務家教員												
としての経歴												
実務経験と 授 業												
学期区分	前期					講義室等		301教室				
	後期		火曜日 1	時限		授業形式	-1-1-1	講義				
授業目標および						成績評価の	万法					
音楽療法士として人と接する際、共感的な態度とともに教育的な視点が欠かせない。本講座では教育の基本原理を著名な教育思想家から学びつつ、今日の教育の現状について解明していく。また、教育思想と音楽療法臨床の接点を探り、主に児童領域における音楽療法の展開へ活用する。						授業態度、試験						
)					教科書						
授業の進め方						保育士完全合格テキスト2025年版(下)						
講義					参考書							
履修上の注意 事項												
			授	受業の	計画							
	(前 I	〕学 期〉	授	受業 の		Γ.	〈後 学 期	1>				
第1回	〈前	〕学 期〉	授	受業 の	計 画 第1回	オリエンテー		1>				
第2回	(前	丁学 期〉	授	後業の	第1回	教育原理①	ーション	3>				
第2回	〈前	丁学期〉	授	後 業 の	第1回 第2回 第3回	教育原理①	-ション)	1 >				
第2回	〈前	丁学期〉	授	後 業 の	第1回	教育原理①	-ション)	1 >				
第2回	〈前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回	教育原理①	-ション)))	1 >				
第2回 第3回 第4回	〈前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回	教育原理① 教育原理② 教育原理③	ーション)))					
第2回 第3回 第4回 第5回	〈前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④	ーション)))					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	(前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④ 教育原理④	ーション)))))))					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	(前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④ 教育原理⑤ まとめ	-ション)))) -ション					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	(前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	教育原理① 教育原理② 教育原理④ 教育原理④ 教育原理⑤ まとめ オリエンテー	-ション)))) -ション -ション (1)					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	(前	了学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④ 教育原理⑤ まとめ オリエンテー 社会的養護	-ション)))) -ション -ション (1)					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	(前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第9回 第10回 第11回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④ 教育原理⑤ まとめ オリエンテー 社会的養護	ーション)))) ーション ((1 (2 (3 (3 () () () () () () () ()					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	(前	〕学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第10回 第11回 第11回	教育原理① 教育原理② 教育原理③ 教育原理④ 教育原理④ オリエンテー 社会的養護 社会的養護	ーション)))) ーション i① i② i③					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	(前	丁学期〉	授	受業の	第1回 第2回 第3回 第5回 第6回 第7回 第8回 第10回 第11回 第12回	教育原理② 教育原原理③ 教育原原理④ 教育原原理④ 教育原原理④ なカッテー社会ののででは、 社会ののででは、 社会ののででは、 社会ののででは、 社会ののででは、 社会ののででは、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	ーション)))) ーション i① i② i③					

授業		基礎科目	担当科目	学会研	修		単位数	2	~= "	選択		
区	分				時間数	30 必修 送が						
担当教	員		髙	i橋和奈枝	受講学科	音	楽療法士学	科				
					学 年		2年					
実務家としての												
実務経.	験と 業											
学期区	(分	前期			講義室等							
		後期				授業形式						
授業目標	およて	が概要					成績評価の)方法				
学会研修において、音楽療法の最新の知見を学ぶ。								出席および参加態度 教科書				
授業の進	め方						1X111 E					
現地でのスケジュールに従う。							参考書					
履修上の 事項												
				授業	の計	画						
		〈前	丁学 期〉					〈後 学 期]>			
第1[回	9月 学	 会研修		第	10						
第2[回	□(日本音	楽療法学:	会学術大会)	第	2回						
第3[回				第	3回						
第4[回				第	4回						
第5[回				第	5回						
第6[6回						
第7[7回						
第8[8回						
第9[9回						
第10						10回						
第11						11回						
第12						12回						
第13	回				第	13回						
第14	□				第	14回						
第15					第	15回						

授業	科目	│				単位数	2	~	選択			
区	分	至诞17日	153170	1寸刀川丹 戎	時間数	30 必修 選が						
担当	当教員					受講学科	音	楽療法士学	科			
,						学 年		3年				
宇茲	家教員											
	の経歴											
— 76	- AT EA I											
美務 授	経験と 業											
学期区分 前期 随時						講義室等 304教室						
	学期区分 6 後期 6							講義				
授業目	目標およて	が 概要				成績評価の	方法					
 外部詞	講師による	る授業を企画	ī実施し、新7	たな学びを得る場とす。	る。	出席と積極	的な参加					
15: 114: -	- ># .1 -L					教科書						
授業0	び進め方					特になし						
講義	ワークシ	ョップ他				参考書						
HT 726 C	, ,,	1// 16				特になし						
履修」	 Lの注意											
	事項											
		/ 2.	〕学期〉	授業の	計画		〈後 学 期	1\				
<i></i>		特別講義	」 子 别/		₩ 4□		(後子)	1/				
	10				第1回							
第	2回	特別講義			第2回							
第	30	特別講義			第3回							
第	4回	特別講義			第4回							
第	5回	特別講義			第5回							
第	6回	特別講義			第6回							
第	7回	特別講義			第7回							
第	8回				第8回	特別講義						
第	9回				第9回	特別講義						
第	10回				第10回	特別講義						
第	11回				第11回	特別講義						
第	12回				第12回	特別講義						
第	13回				第13回	特別講義						
第	14回				第14回	特別講義						
第	15回				第15回	特別講義						